

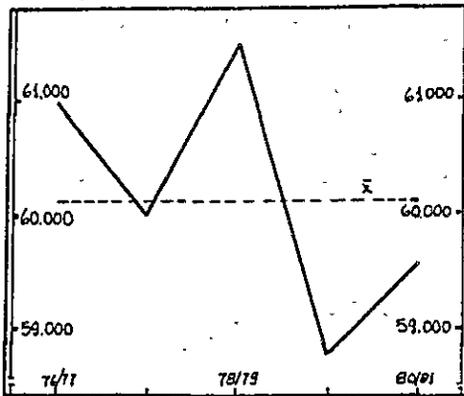
2.9 オレンジ

2.9.1 栽培及び生産

表 2.9-1 から 2.9-4 迄に於て、1976/77 ~ 1980/81 の 5 年間のアルゼンティンの本商品の栽培に関するデータを示す。

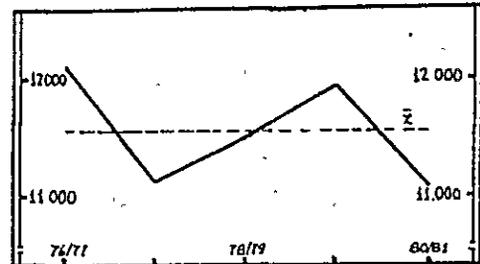
この 5 年間の数字の推移を示す図 2.9-1、2.9-2 及び 2.9-3 によれば、各数字はこの期間ある程度の安定を保っている。

図 2.9-1 オレンジ：栽培面積の推移
1976/77~1980/81 5年間 (ha)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成。

図 2.9-2 オレンジ：収量の推移
1976/77~1980/81 5年間 (kg/ha)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成。

表 2.9-1 オレンジ：植付面積合計 (ヘクタール)

期間	Total	Bs. As.	Corrientes	E. Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Tucumán	その他
1976/77	76.000	7.700	28.000	16.000	3.459	9.100	3.500	1.200	4.950	2.091
1977/78	75.000	7.800	26.100	17.300	2.580	9.500	3.600	1.200	5.000	1.920
1978/79	77.000	7.800	27.700	18.200	2.500	9.500	3.600	870	5.000	1.830
1979/80	71.100	3.560	25.930	18.500	2.550	9.490	3.530	870	4.950	1.720
1980/81	69.700	3.661	25.463	18.000	2.554	9.503	3.101	882	4.946	1.590
平均	73.760	6.104	26.639	17.600	2.729	9.419	3.466	1.004	4.969	1.830

表 2.9-2 オレンジ：生産中植付面積 (ヘクタール)

期間	Total	Bs. As.	Corrientes	E. Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Tucumán	その他
1976/77	61.000	5.200	23.200	11.100	3.309	8.000	2.700	1.100	4.450	1.941
1977/78	60.000	5.300	21.970	12.100	2.300	8.450	2.440	1.130	4.500	1.810
1978/79	61.500	5.250	23.440	12.670	2.250	8.440	2.430	815	4.500	1.705
1979/80	58.800	3.560	21.790	13.300	2.080	8.480	2.400	830	4.740	1.620
1980/81	59.300	3.501	22.553	13.000	2.082	8.689	2.441	835	4.698	1.501
平均	60.520	4.562	22.591	12.434	2.404	8.412	2.482	942	4.578	1.715

表 2.9-3 オレンジ：収量 (kg/ha)

期間	Total	Bs. As.	Corrientes	E. Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Tucumán	その他
1976/77	12.131	13.077	12.500	8.559	21.154	6.625	22.222	18.182	14.607	-
1977/78	11.167	10.755	13.655	7.438	20.435	2.722	17.623	18.584	15.111	-
1978/79	11.480	11.905	14.420	7.419	10.222	7.038	9.588	18.773	15.555	-
1979/80	11.973	14.438	14.484	8.120	17.596	4.693	17.792	15.060	16.034	-
1980/81	11.012	20.994	11.174	8.846	15.850	3.395	16.100	16.766	15.964	-
平均	11.553	14.234	13.247	8.076	17.071	4.895	16.666	17.473	15.454	-

出典：農牧省及び独自の作成。

表 2.9-4 オレンジ：生産額（トン）

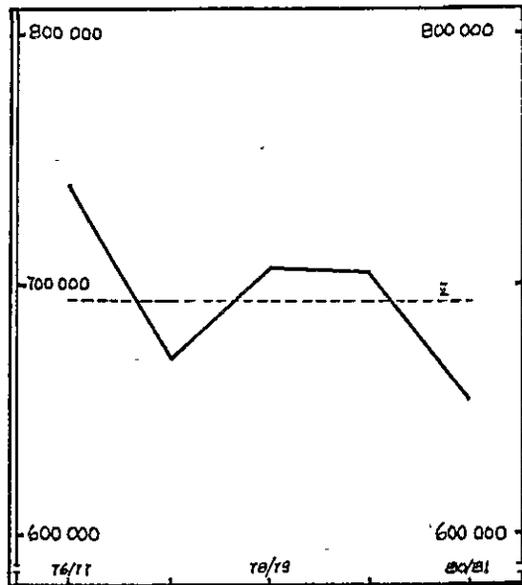
期間	Total	Bs. As.	Corrientes	E. Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Tucumán	その他
1976/77	740.000	68.000	290.000	95.000	70.000	53.000	60.000	20.000	65.000	19.000
1977/78	670.000	57.000	300.000	90.000	47.000	23.000	43.000	21.000	68.000	21.000
1978/79	706.000	62.500	338.000	94.000	23.000	59.400	23.300	15.300	70.000	20.500
1979/80	704.000	51.400	315.600	108.000	36.600	39.800	42.700	12.500	76.000	21.400
1980/81	653.000	73.500	252.000	115.000	33.000	29.500	39.300	14.000	75.000	21.700
平均	694.600	62.480	299.000	100.400	41.920	40.940	41.660	16.560	70.600	20.720

出典：農牧省及び独自の作成。

メソポタミアの諸州が全栽培面積の約4分の3を占めている（図 2.9-4）。

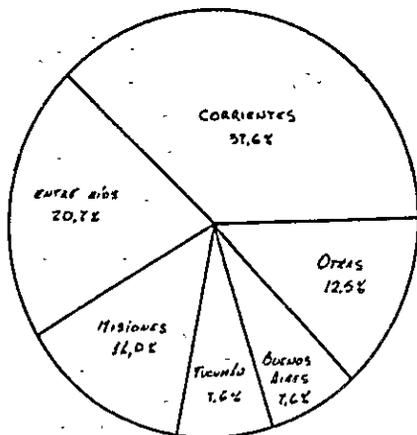
主要生産州はコリエンテス州である（全生産額の43%）。これに続くのが、エントレ・リオス、トゥクマン及びブエノス・アイレスである。（図 2.9-5）。これらの州の中では、トゥクマン州が最も収量が高い（図 2.9-6）。

図 2.9-3 オレンジ：生産額の推移（トン）
1976/77～1980/81 5年間



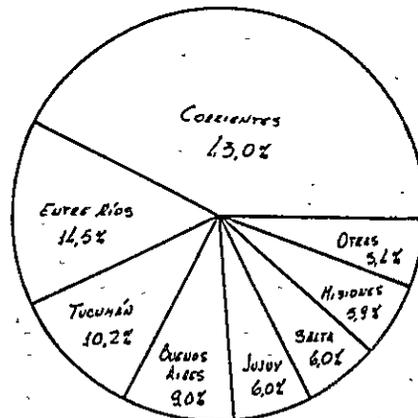
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成。

図 2.9-4 オレンジ：栽培面積の分布
(1976/77～1980/81 平均)



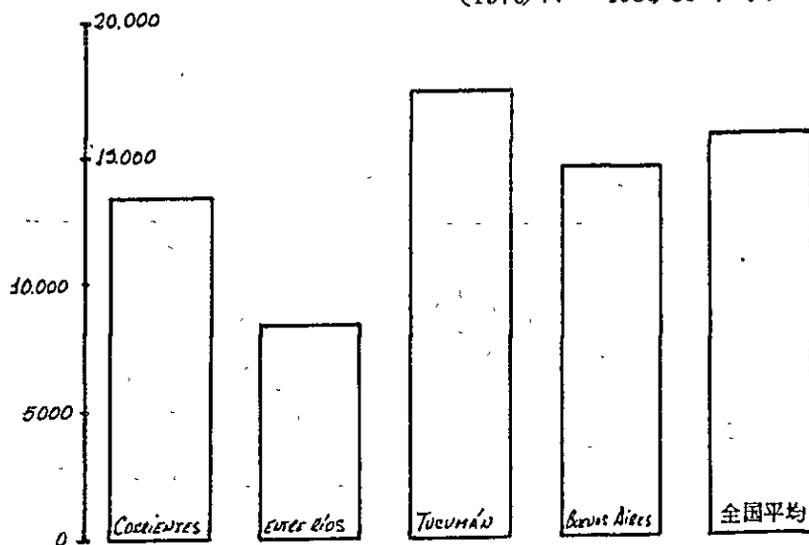
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成。

図 2.9-5 オレンジ：生産量のパーセント表示
(1976/77～1980/81 平均)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成。

図 2.9-6 オレンジ：主要生産州の平均収量
(1976/77 ~ 1980/81 平均)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成。

2.9.2 流通、消費及び加工

オレンジの消費（推定）は、国民一人当たり各年で 30 kg を超えており、全果物消費量の約 28% を占め（表 2.9-4）、オレンジが第 1 位である。全生産量の 95% が国内消費に向けられる。

オレンジの最も流通量の多い時期は、冬の終わりから夏の初め迄である。2 月及び 3 月が最も少ない（図 2.9-7）。

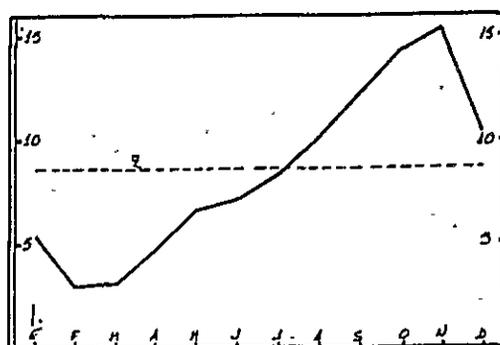
3 月以降は価格が下がる（図 2.9-8）。この後、8 月から 11 月迄の間は、価格と入荷量とが共に上昇する。これは、晩生品種であって品質が良いために高価格となる Valencia 種がこの時期に入荷すること、及び、春になって気温が上ると果物全般の需要が増大する

表 2.9-4 オレンジ：消費（推定）
(kg/国民 1 人, 各年)

年	全果物	オレンジ	%
1970	118,178	36,921	31,2
1971	121,339	41,009	33,8
1972	106,537	30,340	28,5
1973	96,552	31,274	32,4
1974	126,701	32,005	25,3
1975	114,083	28,436	24,9
1976	104,313	28,021	26,9
1977	114,095	26,931	23,6
1978	95,168	24,086	25,3
1979	109,099	26,388	24,2
平均	110,607	30,541	27,6

出典：フランシスコ・ヒオビオの著作からの引用。

図 2.9-7 オレンジ：ドレゴ市場入荷月別平均数量 (1967-76 平均) 各年全入荷量に対するパーセント表示



出典：農牧省 - IICA の著作から引用。

図 2.9-8 オレンジ：月別価格 (1972~81
10年間平均) (1981.12 現在のペソで
表示) *

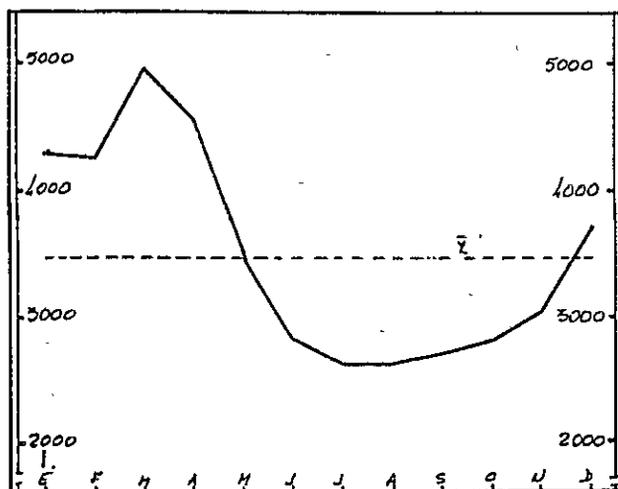
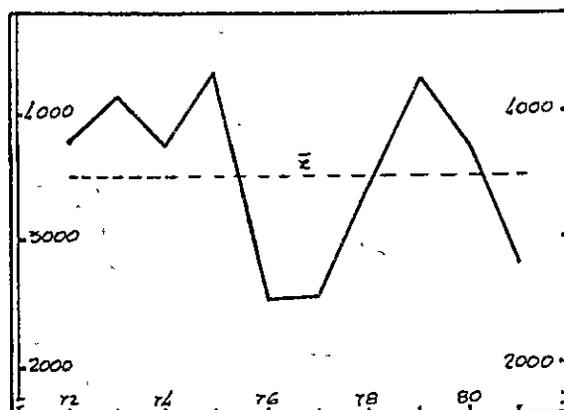


図 2.9-9 オレンジ：年別平均価格 (1981.
12 現在のペソで表示 kg 当り) *



出典：アバスト市場のデータに基づく独自の作成。

出典：アバスト市場のデータに基づく独自の作成。

* 一般卸売価格指標 基準 1960 = 100 による実質化。

こと (特に果汁の多い果物) 等が考えられる。

12月以降は、生産が少くなるため流通量が減少し、一方、価格は上昇し始める。

該当期間中の年別平均価格は 4,350 ペソ/kg から 2,570 ペソ/kg (現行貨幣水準表示) の間を乱高下しており、生産者にとって脅威である。(図 2.9-9)。

連邦首都アバスト市場での該当期間中の月別平均価格について、これを当時の貨幣水準と現行価格とで表わしたものを表 2.9-5 と 2.9-6 にそれぞれ示す。

主たる加工製品は濃縮ジュースである。FAVI の推定によれば、一般かんきつ類の濃縮ジュースが各年約 2,500 万 kg 生産されている。

表 2.9-5 オレンジ：平均月別価格 (当時のペソで表示)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1972	4,0	0,9	1,2	1,4	1,1	1,0	0,9	1,1	1,1	1,5	2,1	3,1
1973	3,2	3,6	3,1	3,0	1,9	1,4	1,2	1,5	1,6	1,7	1,7	1,8
1974	1,8	1,8	2,3	2,5	2,3	2,5	2,3	2,3	2,4	2,7	3,0	-
1975	4,0	4,3	6,4	6,6	6,3	4,9	5,4	5,6	7,1	8,4	12,0	18,0
1976	20,5	21,2	22,3	25,8	25,0	22,6	25,7	27,7	26,4	30,1	30,5	27,1
1977	37,9	46,7	77,8	75,9	67,8	52,2	61,6	72,0	88,7	78,7	87,9	101,0
1978	111,7	119,9	228,1	211,5	287,5	185,6	212,9	207,8	225,8	252,8	239,0	354,5
1979	739,0	871,7	849,0	694,0	596,0	466,8	480,5	563,8	616,3	648,0	740,0	789,4
1980	856,0	972,0	1508,0	1444,0	1164,0	1044,0	848,0	950,0	863,0	902,0	996,0	1580,0
1981	1408,0	1375,0	2175,0	1882,0	1750,0	1208,0	1180,0	1310,0	1452,0	1438,0	1556,0	1900,0

出典：連邦首都アバスト市場のデータに基づく独自の作成。

表 2.9-6 オレンジ：平均月別価格（1981.12 現在のペソで表示）*

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1972	3645	2983	3932	4368	3338	2992	2574	2839	2866	3668	5113	7255	3798
1973	7205	7644	6013	5743	3338	2495	2239	2648	2982	3032	3103	3261	4142
1974	3286	3309	4080	4433	3781	3958	3634	3470	3589	3807	4111	5/d	3769
1975	4942	4800	6642	6591	6025	3217	2703	2459	2729	2979	3830	5282	4350
1976	5065	4069	2775	2541	2352	2038	2182	2175	1907	2081	1974	1648	2567
1977	2020	2325	3732	3442	2893	2088	2333	2421	2783	2171	2250	2482	2578
1978	2488	2537	4426	3763	4693	2891	3161	2841	2893	2947	2567	3579	3232
1979	6781	7409	6678	5128	4040	2864	2742	2806	2914	3032	3347	3483	4269
1980	3622	3949	5899	5438	4160	3477	2743	2987	2636	2615	2813	4427	3730
1981	3851	3575	5396	4155	3577	2080	1801	1829	1892	1766	1721	1900	2795
平均	4284	4260	4957	4560	3462	2810	2611	2647	2719	2510	3063	3735	3523

出典：迎邦首都アバスト市場のデータに基づく独自の作成
* 一般卸売物価指数 基準 1960=100 による実質化

2.9.3 貿易

新鮮商品の輸出量は変動が激しい。その数量と金額とを表 2.9.7 に示す。

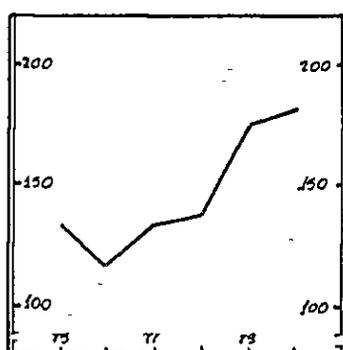
F O B 価格は、近年上昇傾向にある（現行貨幣水準で表示）（図 2.9-10）。

表 2.9-7 オレンジ：輸出額

年	数量(千トン)	金額(US\$)
1970	1,8	260.172
1971	13,7	1.949.979
1972	18,8	s/d
1973	28,3	6.212.233
1974	27,6	6.691.453
1975	5,3	1.116.776
1976	17,6	3.461.043
1977	33,7	8.095.598
1978	30,3	7.965.777
1979	11,9	4.919.600

出典：INDEC.

図 2.9-10 オレンジ：FOB価格の推移(US\$/トン)*



出典：農政省及びINDECのデータに基づく独自の作成

(1) USA工業卸売物価指数基準1970=100による修正計算

主な輸出国は、オランダ、フランス、西独、チリ及び英国である。(表2.9-8)

輸出と同時に、多少の輸入が行なわれている。その数量は、1977/78年に26トン、1978/79年に14,000トン、1979/80年に11,000トンである。

表 2.9-8 オレンジ：仕向先国別輸出品量(箱入り)

国	1978	1979	1980	1981
オランダ	862.617	359.582	304.521	537.261
チェコスロバキア	188.000	-	-	-
フランス	287.567	241.245	93.000	224.235
東独	31.560	-	-	-
西独	50.000	6.000	6.000	60.000
チリ	191.356	-	-	6.000
英国	79.508	-	-	55.000
アラブ首長国連邦	-	-	-	182.000
Total	1.690.708	606.827	403.521	1.065.193

出典：ガブリエル有限会社

加工製品の輸出は主に濃縮ジュースである(表2.9-6)。

主な輸出国は、西独、英国、オランダ、イスラエル及びUSAである。各輸入国は、その買付けの有無及びその数量に関し、著しく安定性を欠いていることに特徴がある。

表 2.9-9 オレンジ：仕向先国別濃縮ジュース、芳香油及び果皮の輸出数量（kg表示）

国	濃縮ジュース		1978	芳香油		果皮
	1975	1977 (Q)		1975	1977*	
イタリヤ	-	17.840	55.708	-	6.222	5.787
オランダ	-	121.000	762.202	-	-	-
カナダ	-	-	53.730	-	-	-
西独	802.936	321.100	55.000	123	-	-
英	675.145	-	209.440	-	-	-
イスラエル	-	-	218.200	-	-	-
フィンランド	-	-	293	-	-	-
フランス	32.480	-	46.546	-	-	-
イタリア	-	-	55.000	-	-	-
チリ	-	-	573	-	-	-
スイス	42.840	-	-	-	-	-
スウェーデン	21.600	-	-	-	-	-
シンガポール	-	-	-	-	-	117.805
マレーシア	-	77.000	-	-	-	-
TOTAL	1,571,001	536,940	1,456,692	123	6,222	5,787

出典：ガブリエル有限会社

※（仮数値）

2.10 レモン

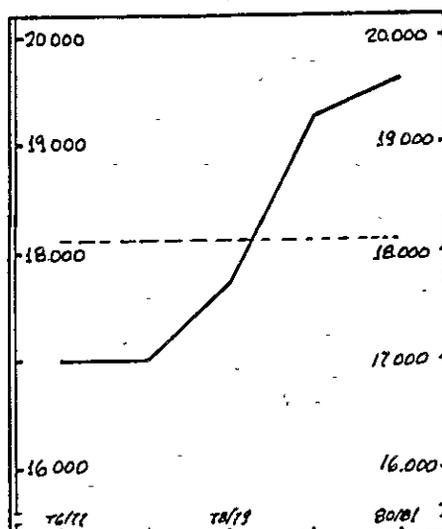
2.2.10.1 栽培及び生産

レモンは、りんご及びオレンジに次いで、生産額で我が国の第3位を占めている。従って柑橘類としては第2位である。

表 2.10-1 から 2.10-4 迄に、最近 5 カ年間のデータを示す。

栽培面積は、1976/77 及び 1977/78 期は安定状態となっているが、その後は著しく増加して来ている（図 2.10-1）。

図 2.10-1 レモン：栽培面積の推移 - 1976/77 - 1980/81, 5ヶ年間（ヘクタール）



出典：農政省のデータに基づく独自の作成

収量は、1977/78 期に下降した後に回復し、その下降分以上に上昇を見た（図 2.10-2）

表 2.10-1 レモン：植付面積合計（ヘクタール）

期 間	Total	Bs. As.	Corrientes	E. Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Tucumán	その他
1976/77	20.000	250	1.500	2.600	1.140	1.560	1.700	210	10.700	340
1977/78	19.500	270	1.700	2.600	1.000	1.560	1.650	200	10.170	350
1978/79	21.400	280	1.620	2.800	1.000	1.640	1.650	165	11.900	345
1979/80	23.500	462	1.912	2.900	915	1.719	1.653	176	13.380	383
1980/81※)	26.000	459	2.329	2.900	915	1.976	1.993	194	14.860	375
平 均	22.080	344	1.812	2.760	994	1.691	1.792	189	12.202	359

表 2.10-2 レモン：生産中植付面積（ヘクタール）

期 間	Total	Bs. As.	Corrientes	E. Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Tucumán	その他
1976/77	17.000	180	1.100	1.700	1.070	1.470	1.000	200	10.000	280
1977/78	17.000	200	1.400	1.900	900	1.450	1.060	190	9.600	300
1978/79	17.700	200	1.340	2.100	900	1.445	1.100	160	10.160	295
1979/80	19.220	462	1.448	2.300	594	1.505	1.103	170	11.300	338
1980/81(1)	19.600	439	1.632	2.300	594	1.561	1.335	187	11.260	342
平 均	18.104	296	1.384	2.060	812	1.486	1.119	181	10.454	311

出典：農牧省及び独自の作成
※ 推定

表 2.10-3 レモン：収量（kg/ha）

期 間	Total	Bs. As.	Corrientes	E. Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Tucumán	その他
1976/77	18.823	12.222	17.273	9.412	16.822	6.327	20.000	18.500	23.000	-
1977/78	16.471	11.000	15.000	6.316	17.778	3.172	16.981	19.484	20.833	-
1978/79	17.006	14.500	13.955	7.619	11.333	6.713	19.455	16.875	22.244	-
1979/80	20.604	17.749	13.191	7.391	21.380	8.638	21.306	11.765	26.283	-
1980/81(1)	20.867	26.879	12.132	7.174	16.700	10.397	17.228	16.321	27.208	-
平 均	18.754	16.470	14.310	7.582	16.803	7.045	18.994	16.587	23.914	-

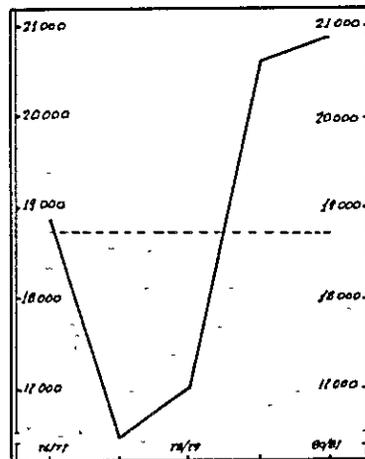
表 2.10-4 レモン：生産額（トン）

期 間	Total	Bs. As.	Corrientes	E. Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Tucumán	その他
1976/77	320.000	2.200	19.000	16.000	18.000	9.300	20.000	3.700	230.000	1.800
1977/78	280.000	2.200	21.000	12.000	16.000	4.600	18.000	3.700	200.000	3.100
1978/79	301.000	2.900	18.700	16.000	10.200	9.700	12.600	2.700	226.000	2.200
1979/80	396.000	8.200	19.100	17.000	12.700	13.000	23.500	2.000	297.000	3.500
1980/81※)	409.000	11.800	19.800	16.500	9.920	16.200	23.000	3.052	305.000	3.728
平 均	341.200	5.460	19.520	15.500	13.364	10.560	19.420	3.030	251.600	2.866

出典：農牧省及び独自の作成
※ 推定

図 2.10-2 レモン：収量の推移（kg/ha）

1976/77 - 1980/81 5 か年間



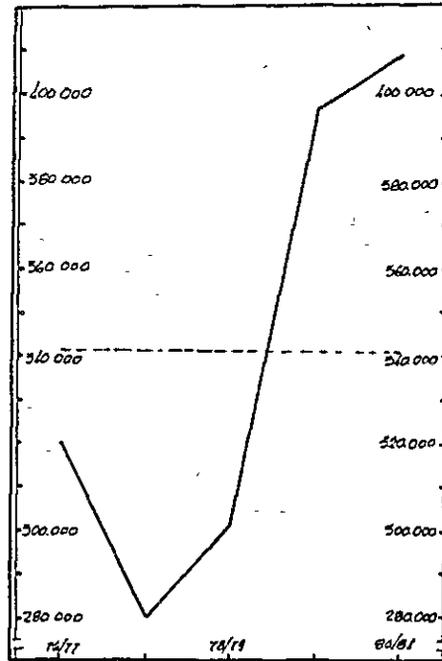
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

この結果 生産額はかなりの増加を続けて来ている（図 2.10-3）。この増加傾向は、1976/68 期から既に始まっている。

トゥクマン州で主に生産されており、（栽培面積の約 60%，生産額の約 3/4），さらに収量も最も多い。（図 2.10-4、2.10-5 及び 2.10-6）。

図 2.10-3 レモン：生産額の推移

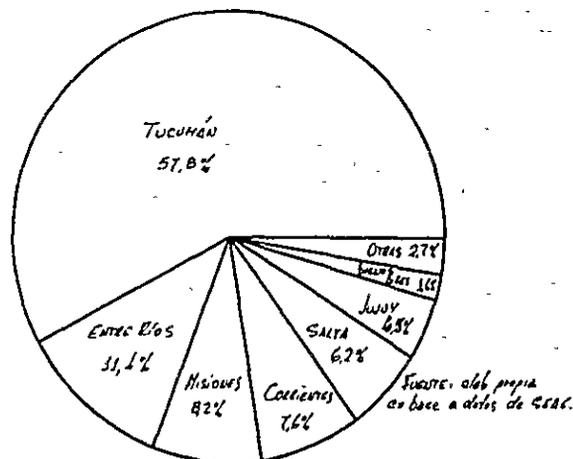
1976/77 - 1980/81 5 ケ年間（トン）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

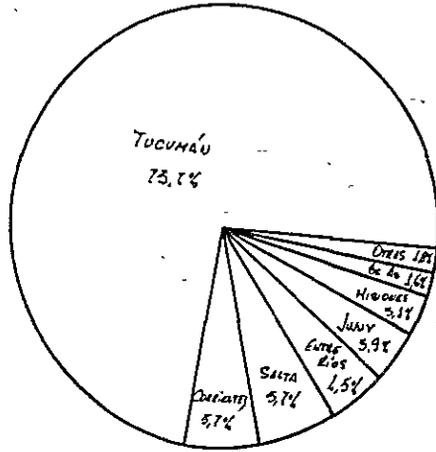
図 2.10-4 レモン：栽培面積（パーセント表示）

（1976/77 - 1980/81 平均）



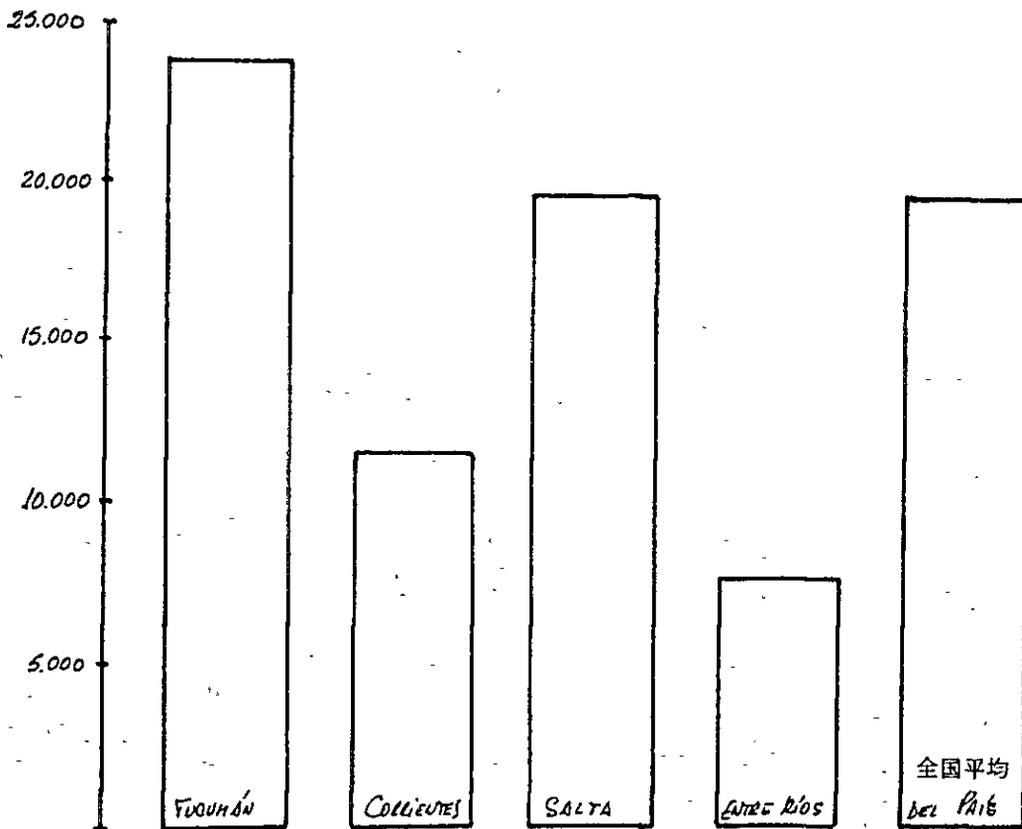
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.10-5 レモン：生産額（パーセント表示）
（1976/77 - 1980/81 平均）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.10-6 レモン：主要生産州の平均収量
（1976/77 - 1980/81 5 年平均）（kg/ha）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

2.10.2 流通及び消費

レモンの消費（推定）は国民一人当たり各年約10kgであり、オレンジ、バナナ及びりんごに次いで消費量では第4位を占めている。全果物消費量の約9%である（表2.10-5）。

表 2.10-5 レモン：消費（推定）（kg/国民一人、年）

年	全果物	レモン	%
1970	118,178	8,625	7,3
1971	121,339	8,311	6,8
1972	106,537	7,546	7,1
1973	96,552	9,352	9,7
1974	126,701	11,823	9,3
1975	114,083	12,870	11,3
1976	104,313	9,116	8,7
1977	114,096	11,575	10,1
1978	95,168	9,665	10,2
1979	109,099	9,683	8,9
平均	110,607	9,857	8,9

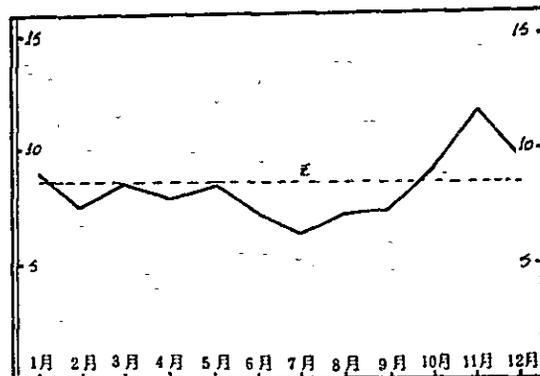
出典：フランシスコ・ヒオピオの著作からの引用

連邦首都内で流通される年間取扱量の変動を図2.10-7に示す。トゥクマンでは冬に収穫されるが、首都ブエノスアイレスに出廻るのは11月である。

図 2.10-7 レモン：ドレゴ市場入荷数量

（1967-76平均）各年全入荷量に対するパーセント

表示



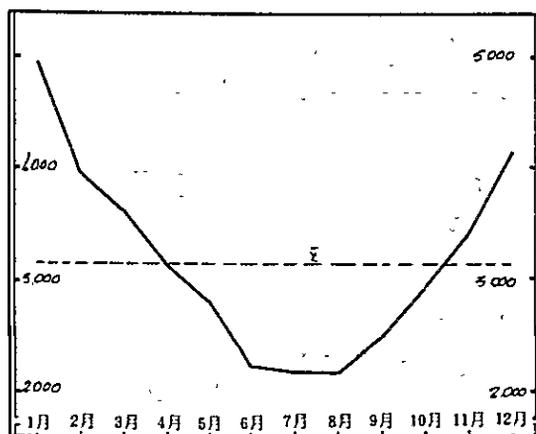
出典：農牧省- IICAの著作からの引用

多分この理由は、冬の間はレモンの消費が少なく、夏が近づくに従って増加するためである。輸出が調整機能を果たしている。消費が少ない月には輸出が行なわれている。

価格に関して言えば（図2.10-8），春の初めと夏の間の各月が高くなっており，最高は1月である。この理由は、この時期が最大需要期であることと、市場に良品のものが出回っていることに

よるのである。

図 2.10-8 レモン：月別価格（1972-81, 10 年間平均）
（1981.12. 現在のペソで表示 kg 当り）※



出典：連邦首都アバスト市場のデータに基づく独自の作成
※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

最近年の価格の推移を図 2.10-9 に示す。ここに見られる変動は、既に述べた他の果物と比べれば、さほど、顕著なものではない。

最後に表 2.10-6 に最近 10 年間の月別価格を、表 2.10-7 にはこれを 1981.12. 現在の貨幣水準で表示したものを示す。

表 2.10-6 レモン：月別平均価格（当時のペソで表示 kg 当り）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1972	2,0	1,8	1,4	1,0	0,8	0,9	0,8	0,9	1,1	1,2	1,1	1,0
1973	1,9	1,0	1,0	1,0	1,1	1,0	1,0	1,1	1,2	1,5	1,9	1,9
1974	2,8	2,6	2,4	2,3	1,8	2,0	1,9	1,8	2,4	2,6	2,9	a/d
1975	3,9	3,5	3,3	3,7	3,9	3,1	4,7	4,8	5,5	8,0	12,5	23,1
1976	21,7	20,9	24,4	24,0	22,6	21,9	21,4	26,7	30,6	43,0	46,1	47,9
1977	63,7	49,6	66,5	72,2	54,6	41,2	54,1	54,1	77,7	79,3	126,4	150,5
1978	127,0	117,6	127,3	135,0	223,2	125,5	132,3	140,0	175,7	239,0	304,6	401,2
1979	627,3	639,7	532,0	537,2	484,0	402,0	448,5	523,0	583,5	708,3	869,0	991,0
1980	874,0	718,0	840,0	956,0	868,0	782,0	792,0	832,0	934,0	1364,0	1506,0	2488,0
1981	2428,0	2125,0	1820,0	1421,0	1098,0	996,0	1098,0	1260,0	1296,0	1508,0	2048,0	2537,0

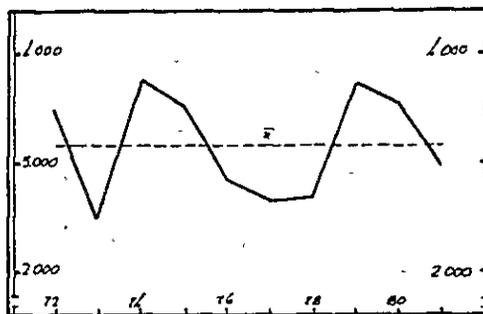
出典：連邦首都アバスト市場

表 2.10-7 レモン：月別平均価格（1981.12.現在のペソで表示kg当り）※

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1972	7436	6310	4725	3165	2580	2536	2246	2303	2815	2974	2629	2285	3500
1973	4220	2058	2011	1933	2010	1876	1762	1941	2259	2689	3450	3459	2472
1974	5028	4704	4276	3964	2981	3282	2976	2755	3604	3693	4002	s/d	3751
1975	4892	3849	3446	3764	3730	2045	2385	2100	2117	2855	4037	6809	3502
1976	5369	4015	3038	2368	2132	1971	1813	2094	2205	2970	2983	2907	2822
1977	3398	2471	3190	3275	2329	1651	2049	1819	2439	2188	3235	3698	2645
1978	2831	2490	2469	2402	3644	1955	1964	1914	2251	2777	3271	4051	2668
1979	5756	5437	4185	3969	3281	2466	2559	2603	2759	3314	3930	4372	3719
1980	3698	2917	3286	3600	3102	2604	2562	2616	2853	3954	4253	6971	3535
1981	6641	5525	4515	3138	2244	1715	1676	1759	1689	1852	2265	2537	2963
MEDIA	4927	3978	3614	3158	2803	2210	2199	2190	2499	2927	3405	4121	3169

出典：連邦首都アバスト市場のデータに基づく独自の作成
 ※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

図 2.10-9 レモン：年別平均価格（1981.12.現在のペソで表示kg当り）※



出典：連邦首都アバスト市場のデータに基づく独自の作成
 ※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

2.10.3 外国貿易

レモンの輸出は近年継続して増加傾向を示し、1970年の100トンから1979年の45,700トンに迄なった（表 2.10-8）。

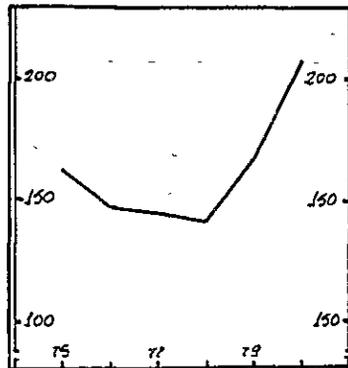
表 2.10-8 レモン：新鮮商品輸出額

年	数量(千トン)	金額(US\$)
1970	0,1	11.329
1971	0,7	93.328
1972	4,2	データ無し
1973	5,1	1.090.454
1974	7,9	2.065.569
1975	10,1	2.570.605
1976	11,0	2.706.433
1977	16,5	4.254.300
1978	23,5	6.298.755
1979	45,7	18.037.790

出典：INDEC及びガブリエル有限公司

一方、国際価格は、3年間の低価格の後に1979年及び1980年に於て好転している
(図2.10-10)。

図2.10-10 レモン：新鮮商品のFOB価格の推移(US\$/トン)※



出典：農牧省及びINDECのデータに基づく独自の作成
※ USA工業卸売物価指数 基準1970=100による修正

近年の主な輸出国は、ポーランド、チェコスロバキア、オランダ及びハンガリーである
(表2.10-9)。

表2.10-9 レモン：仕向先国別輸出数量(箱入れ)

年	1978	1979	1980	1981
オランダ	65.093	237.561	71.546	165.518
ポーランド	343.529	688.085	468.773	100.000
チェコスロバキア	405.692	529.706	316.785	433.633
フランス	-	122.826	9.307	89.749
ハンガリー	372.799	399.532	-	260.721
東独	163.595	239.298	-	-
西独	3.500	86.848	17.742	16.523
ノルウェー	720	-	-	-
スウェーデン	3.000	-	-	-
ソ連	-	102.860	-	-
アラブ首長国連邦	-	-	-	4.588
英	3.141	-	2.000	-
チリ	-	-	-	1.750
計	1,363,069	2,406,716	886,153	1,072,482

出典：ガブリエル有限会社

新鮮果実と共に、濃縮ジュース、芳香油及び果皮の輸出も行なわれている。これらに関するデータを表2.10-10に示す。主な相手先は、西独、オランダ、イスラエル及びカナダである。

同時に、レモンの輸入が1978/79と1979/80期に行なわれており、その数量はそれぞれ1,100トンと200トンである。

表 2.1 0 - 1 0 レモン：仕向先国別濃縮ジュース，
芳香油及び果皮の輸出数量（Kg表示）

国	濃縮ジュース			芳香油			果皮	
	1975	1977 (1)	1978	1975	1977 (1)	1978	1975	1977 *
USA	-	-	22,543	69,689	72,783	318,102	-	-
オランダ	75,240	199,139	1,109,765	-	-	19,792	-	-
カナダ	26,000	65,000	16,260	-	1,197	3,042	-	-
西独	642,989	552,938	1,178,750	19,756	2,394	29,339	-	-
日本	104,760	2,385	94,536	-	-	-	-	-
スイセン	-	-	10,878	-	-	-	397,476	-
英国	323,215	32,250	113,699	7,488	-	-	-	-
イスラエル	-	195,003	216,660	-	-	-	-	-
スペイン	106,440	-	54,000	3,030	6,760	-	-	-
フィンランド	-	-	520	-	-	-	-	-
フランス	23,900	-	54,807	3,431	395	36,263	22,581	-
チンマク	-	-	20,000	-	-	-	496,495	1,125,392
メキシコ	-	-	-	70,034	1,763	12,672	-	-
チリ	-	-	1,977	-	-	-	-	-
ヘルセン	256,750	-	-	-	-	-	-	-
ブラジル	-	-	-	-	-	-	50,180	-
計	1,561,234	1,046,715	2,894,395	173,428	85,292	419,210	966,732	1,125,392

出典：ガブリエル有限公司
※ 仮数値

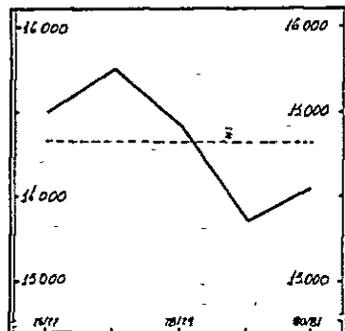
2.11 グレープフルーツ

2.11.1 栽培及び生産

本商品の栽培及び生産に関するデータを表 2.1 1 - 1 から 2.1 1 - 4 迄に示す。

栽培面積は，1977/78 期に増加を記録した後，連続して 2 年間下降した。1980/81 期に部分的には元の状態に戻ったが，5 か年平均値に迄は達していない（図 2.1 1 - 1）。

図 2.1 1 - 1 グレープフルーツ：栽培面積の推移 1976/77 - 1980/81 5 年間(ha)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成
※ 推定値

収量は，ヘクタール当たり 9,000 Kg から 12,000 Kg の間を変動している（図 2.1 1 - 2）。

生産は，1978/79 期の低水準の後，平均値を上回る数字に迄に回復している（図 2.1 1 - 8）。

主たる生産州はエントレ・リオス（栽培面積で 37.9%，生産量で 26.8%）（図 2.1 1 - 4 及び 2.1 1 - 5）であるが，その収量はそれ程多くない（図 2.1 1 - 6）。これに次ぐ州は，サルタ，トゥクマン，コリエンテス及びブエノスアイレスである。

表 2.11-1 グレープフルーツ：植付面積合計(ha)

期 間	Total	Bs. As.	Corrient.	E. Ríos	Formosa	Jujuy	Salta	Sgo. del E.	Tucum.	その他
1976/77	19.000	1.000	2.800	7.400	700	720	2.600	400	1.900	1.480
1977/78	19.000	1.000	3.000	7.400	700	560	2.600	430	1.900	1.410
1978/79	18.000	980	2.450	7.000	650	550	2.600	440	1.900	1.430
1979/80	16.200	301	2.075	6.500	648	385	2.540	435	1.880	1.436
1980/81(*)	16.600	316	2.325	6.500	643	389	2.840	435	1.796	1.360
平 均	17.760	719	2.530	6.960	668	520	2.636	428	1.875	1.423

※ 推定値

表 2.11-2 グレープフルーツ：生産中植付面積(ha)

期 間	Total	Bs. As.	Corrient.	E. Ríos	Formosa	Jujuy	Salta	Sgo. del E.	Tucum.	その他
1976/77	15.000	900	2.300	5.400	600	600	1.800	280	1.700	1.420
1977/78	15.500	880	2.600	5.800	650	470	1.700	340	1.700	1.360
1978/79	14.800	850	2.380	5.500	580	485	1.600	345	1.685	1.375
1979/80	13.700	301	2.032	5.500	605	259	1.600	344	1.675	1.384
1980/81(*)	14.100	296	2.298	5.500	616	259	1.846	344	1.613	1.328
平 均	14.620	645	2.322	5.540	610	415	1.709	331	1.675	1.373

出典：農牧省及び独自の作成

※ 推定値

表 2.11-3 グレープフルーツ：収量 (Kg / ha)

期 間	Total	Bs. As.	Corrient.	E. Ríos	Formosa	Jujuy	Salta	Sgo. del E.	Tucum.	その他
1976/77	11.333	12.222	9.565	7.963	10.000	23.333	22.222	15.000	13.529	-
1977/78	9.355	11.364	9.615	5.690	14.461	18.085	15.294	14.412	14.118	-
1978/79	9.054	14.353	8.823	7.091	9.138	10.722	20.437	14.493	14.303	-
1979/80	11.971	32.558	9.006	8.727	21.983	17.761	20.000	14.535	14.925	-
1980/81(*)	10.993	38.513	10.183	7.818	9.903	14.286	15.168	14.535	14.879	-
平 均	10.541	21.802	9.438	7.456	13.097	16.717	16.624	14.595	14.351	-

※ 推定値

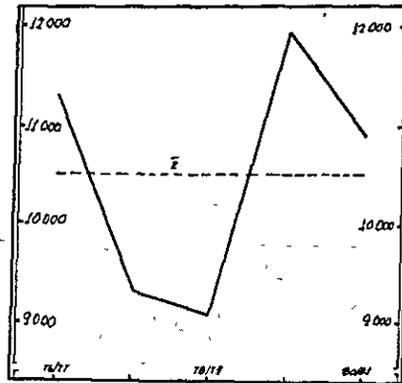
表 2.11-4 グレープフルーツ生産量 (トン)

期 間	Total	Bs. As.	Corrient.	E. Ríos	Formosa	Jujuy	Salta	Sgo. del E.	Tucum.	その他
1976/77	170.000	11.000	22.000	43.000	6.000	14.000	40.000	4.200	23.000	6.800
1977/78	145.000	10.000	25.000	33.000	9.400	8.500	26.000	4.900	24.000	4.200
1978/79	134.000	12.200	21.000	39.000	5.300	5.200	16.700	5.000	24.100	5.100
1979/80	164.000	9.800	18.300	48.000	13.300	4.600	32.000	5.000	25.000	8.000
1980/81(*)	155.000	11.400	23.400	43.000	6.100	3.700	28.000	5.000	24.000	10.400
平 均	153.600	10.880	21.940	41.200	8.100	7.200	28.540	4.820	24.020	6.900

出典：農牧省及び独自の作成

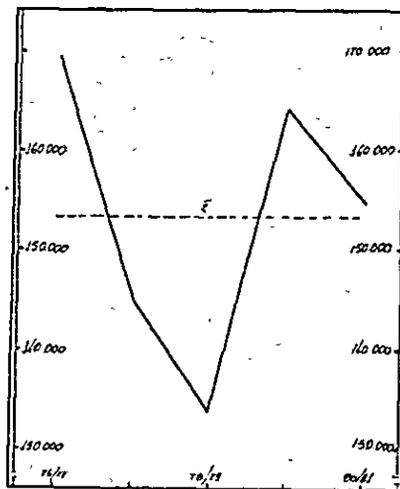
※ 推定値

図 2.1 1 - 2 グレープフルーツ：収量の推移 1976/77 - 1980/81 5年間 (Kg / ha)



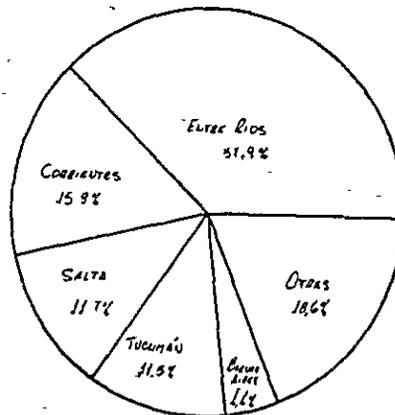
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 1 - 3 グレープフルーツ生産量の推移 1976/77 - 1980/81 5年間 (トン)



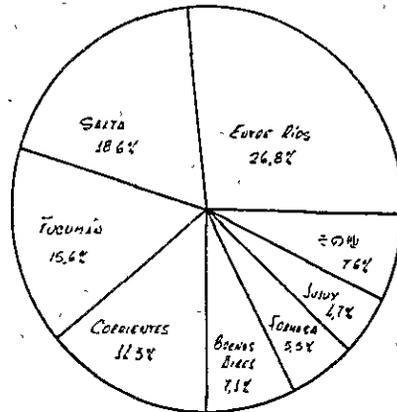
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 1 - 4 グレープフルーツ：栽培面積のパーセント表示 (1976/77 - 1980/81 平均)



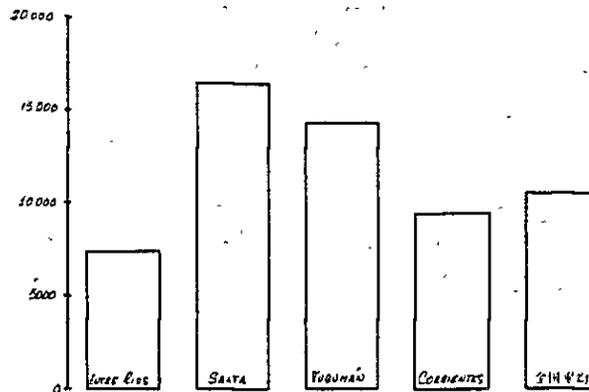
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 1 - 5 グレープフルーツ：生産額のパーセント表示 (1976/77 - 1980/81 平均)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 1 - 6 グレープフルーツ：主要生産州の平均収量 (1976/77 - 1980/81 平均) (kg/ha)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

2.11.2 流通及び消費

表 2.1 1 - 5 によれば、グレープフルーツの消費（推定）は国民一人当たり各年約 6 kg であり（該当期間内の平均）、全果物消費量の 5% 強を占めている。

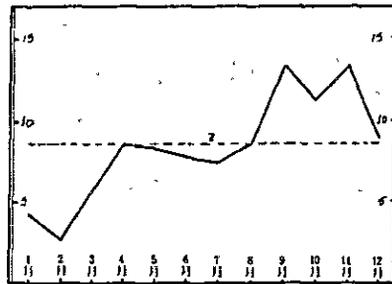
表 2.1 1 - 5 グレープフルーツ：消費（推定）(kg/ha年)

年	全果物	グレープフルーツ	%
1970	118,178	5,610	4.7
1971	121,339	5,882	4.8
1972	106,537	5,365	5.0
1973	96,552	6,944	7.2
1974	126,701	6,349	5.0
1975	114,083	6,938	6.1
1976	104,313	6,475	6.2
1977	114,095	5,819	5.1
1978	95,168	4,687	4.9
1979	109,099	4,627	4.2
平均	110,607	5,870	5.3

出典：フランシスコ・ヒオビオの著作からの引用

連邦首都で最も流通量の多い時期は春の各月である（図 2.1 1-7）。3 月以降に増加が見られるのは、ばら色種が入荷されることによるものである。

図 2.1 1-7 グレープフルーツ：ドレゴ市場月別入荷量（1967 - 76 平均）
各年全入荷量に対するパーセント表示



出荷：農牧省 - I I G A の著作からの引用

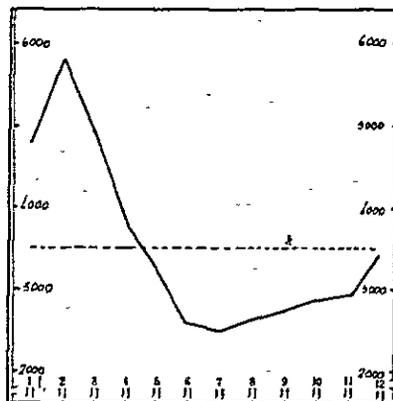
7 月以降，北部地方及びメソポタミア地方の商品が入荷するため，継続して増加する。1 1 月にはブエノスアイレスから入荷がある。

価格は，夏の間及び秋の初めの各月は平均値以上を維持する。これは，この時期に最大の需要があることと供給量が落ち込むことによる（図 2.1 1-8）。

図 2.1.1-9 にて各年別の価格の動きを示すが，1981 年下降段階が始まっていることが明らかとなっている。

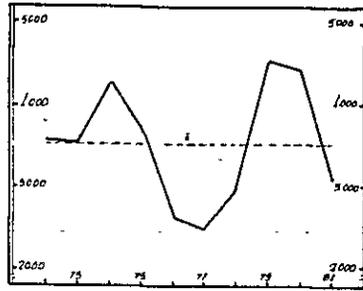
最後に，表 2.1 1-6 及び 2.1 1-7 に於て，連邦首都アバスト市場の最近 10 年間の価格を示す。

図 2.1 1-8 グレープフルーツ：月別価格（1972-81.10 年間平均）1981.12 現在のペソ表示※



出典：連邦首都アバスト市場のデータに基づく独自の作成
※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

図 2.1 1 - 9 グレープフルーツ：月別平均価格（1981.12.現在のペソで表示）(1)



出典：連邦首都アバスト市場データに基づく独自の作成

表 2.1 1 - 6 グレープフルーツ：月別平均価格（当時のペソで表示 K_g当り）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1972	1,2	1,2	1,1	1,1	1,0	1,0	0,8	1,0	1,2	1,5	1,6	2,5
1973	2,3	2,8	2,5	2,1	1,7	1,3	1,2	1,4	1,5	1,8	1,6	1,8
1974	2,4	3,8	3,3	2,8	2,3	2,1	2,0	2,1	2,4	2,8	3,0	a/d
1975	4,2	6,7	5,0	3,2	3,5	3,2	5,0	5,7	6,3	7,3	10,4	14,2
1976	19,0	21,5	25,3	25,0	21,0	25,4	28,2	24,1	27,2	27,2	33,1	36,5
1977	54,8	80,4	73,4	64,7	56,7	45,0	55,4	69,7	80,8	64,1	70,7	73,2
1978	109,5	152,5	208,1	189,5	232,4	158,6	152,0	189,2	187,7	236,2	223,9	401,8
1979	1093,2	1235,8	678,0	607,0	559,8	463,6	409,0	523,7	624,7	720,5	685,0	663,8
1980	942,0	1456,0	1950,0	1424,0	1064,0	1080,0	1060,0	1204,0	1202,0	1194,0	1352,0	1566,0
1981	1564,0	2380,0	2225,0	1805,0	1541,0	1176,0	1391,0	1346,0	1580,0	1506,0	1700,0	1990,0

出典：連邦首都アバスト市場データ

表 2.1 1 - 7 グレープフルーツ：月別平均価格（1981.12.現在のペソで表示 K_g当り）※

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年 平均
1972	4447	4149	3601	3155	3126	2849	2300	2571	3019	3668	3944	5842	3573
1973	5253	5796	4869	3904	3015	2459	2276	2576	2802	3231	2884	3171	3520
1974	4292	6814	5880	4833	3864	3314	3438	3272	3560	3977	4070	a/d	4265
1975	5240	7255	5222	3260	3385	2132	2536	2498	2446	2592	3372	4187	3677
1976	4707	4127	3153	2469	1979	2290	2396	1893	1966	1862	2139	2338	2612
1977	2924	4011	3521	2935	2420	1803	2097	2344	2536	1770	1810	1799	2497
1978	2441	3228	4038	3371	3794	2470	2257	2586	2405	2753	2404	4057	2984
1979	10031	10504	5333	4485	3794	2844	2334	2606	2954	3371	3098	2929	4524
1980	3986	5916	7628	5363	3803	3596	3429	3785	3672	3461	3818	4394	4404
1981	4278	6188	5520	3985	3150	2025	2123	1879	2059	1849	1880	1990	3077
1982	4760	5799	4876	3796	3233	2578	2479	2601	2742	2855	2942	3412	3506

出典：連邦首都アバスト市場のデータによる独自の作成

※ 一般卸売物価指数基準 1960 = 100 による実質化

2.11.3 外国貿易

グレープフルーツの輸出は、近年一般的に増加傾向とはなっていないが、ある程度の変動がある（表 2.11-8）。輸出の割合は全生産量の約 10% である。

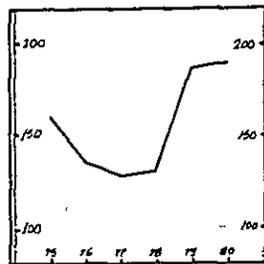
表 2.11-8 グレープフルーツ：輸出

年	数量(千トン)	FOB価格(US\$)
1970	0.1	11.497
1971	3.9	682.172
1972	10.9	a/d
1973	11.7	2,774.077
1974	18.2	4,536.048
1975	10.4	2,601.815
1976	12.4	2,805.764
1977	17.7	4,036.450
1978	20.5	5,137.379
1979	14.6	4,994.660

出典：INDEC及びガブリエル有限会社

FOB価格の推移を見ると、1975年及び1977年に下降した後は上昇傾向に転じている（図 2.11-10）。

図 2.11-10 グレープフルーツ：FOB価格の推移（US\$/トン）※



出典：農牧省及びINDECのデータに基づく独自の作成

※ USA工業卸売物価指数 基準1970 = 100による修正計算

主要な輸出国は、オランダ、フランス、西独及びイタリアである（表 2.11-9）。

表 2.11-9 グレープフルーツ：仕向先国別輸出（箱入れ）

国	1978	1979	1980	1981
オランダ	654.339	392.329	395.092	319.414
フランス	252.531	131.196	188.455	200.184
デンマーク	1.000	-	-	-
東独	99.000	-	-	-
西独	126.284	102.679	40.769	29.368
イタリア	70	-	-	-
イタリ	37.400	120.000	173.557	12.500
英	31.890	-	-	-
スエーデン	2.500	-	-	-
ユーゴスラビア	-	23.510	-	-
アラブ首長国連邦	-	-	-	1.000
Total	1,205.014	769.714	797.873	562.466

出典：ガブリエル有限会社

加工製品に関して言えば、濃縮ジュースがある程度輸出されており、その主な仕向先は、オランダ、西独及びベルギーである（表 2.1 1 - 1 0）。芳香油及び果皮に関しては、散発的な輸出が行なわれるにすぎず、重要度は少ない。

表 2.1 1 - 1 0 グレープフルーツ：仕向先国別濃縮ジュースの輸出（kg表示）

国	1975	1977 (仮)	1978
オランダ	277,564	630,789	1,730,164
西独	533,083	370,976	575,695
ベルギー	-	-	81,600
スイス	10,800	-	21,600
フランス	97,200	64,800	194,400
フィンランド	-	-	260
カナダ	-	564,400	-
イギリス	27,000	109,600	-
ノルウェー	-	98,410	-
デンマーク	-	48,705	-
スウェーデン	-	59,360	-
その他	190,775	-	-
フランス	123,240	-	-
オランダ	123,760	-	-
デンマーク	-	-	-
Total	1,383,422	1,947,040	2,603,719

出典：ガブリエル有限会社
※ 仮数値

一方、グレープフルーツの輸入は 1976/77（280 トン）、1978/79（1,770 トン）及び 1979/80（3,300 トン）に行なわれている。

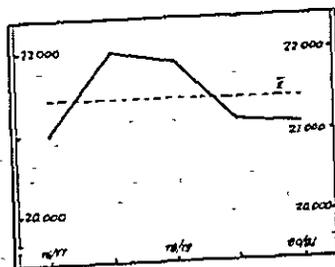
2.12 みかん

2.12.1 栽培及び生産

本商品に関するデータを表 2.1 2 - 1 から 2.1 2 - 4 迄に示す。

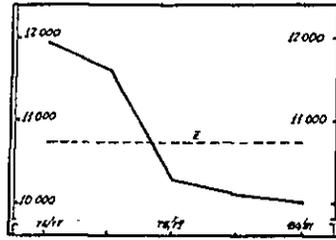
栽培面積は、1976/77 - 1980/81 期間中に上昇した後は下降傾向を示している（図 2.1 2 - 1）。これに収量の低下（図 2.1 2 - 2）が相まって生産量は減少し 80/81 年は 2 1 万トン強であった（図 2.1 2 - 3）。

図 2.1 2 - 1 みかん：栽培面積の推移 1976/77 - 1980/81 5 年間(ha)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 2 - 2 みかん：収量の推移 1976/77 - 1980/81 5年間 (Kg / ha)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

表 2.1 2 - 1 みかん：植付面積合計ha

期間	Total	Bs. As.	Corrient.	E. Rios	Jujuy	Salta	Santa Fe	Sgo del E.	Tucum.	その他
1976/77	30.000	2.500	3.000	17.000	1.000	1.200	1.500	1.000	1.500	1.300
1977/78	29.000	2.450	2.740	16.600	900	1.200	1.450	950	1.480	1.230
1978/79	29.000	2.400	2.900	16.700	875	1.200	1.300	950	1.475	1.200
1979/80	27.400	627	3.130	16.700	755	1.200	1.310	950	1.480	1.248
1980/81*	28.100	652	3.604	16.500	755	1.206	1.306	948	1.550	1.579
平均	28.700	1.756	3.021	16.700	857	1.201	1.373	960	1.497	1.335

出典：農牧省及び独自の作成

※ 推定値

表 2.1 2 - 2 みかん：生産中植付面積ha

期間	Total	Bs. As.	Corrient.	E. Rios	Jujuy	Salta	Santa Fe	Sgo del E.	Tucum.	その他
1976/77	21.000	2.100	2.500	10.200	950	700	1.400	600	1.400	950
1977/78	22.000	2.100	2.300	11.300	780	700	1.400	850	1.400	1.080
1978/79	21.850	2.100	2.500	11.200	765	740	1.270	840	1.405	1.030
1979/80	21.160	627	2.578	12.150	442	740	1.285	848	1.410	1.080
1980/81*	21.100	597	2.673	12.000	442	783	1.278	848	1.381	1.098
平均	21.422	1.501	2.526	11.370	676	733	1.327	837	1.401	1.048

出典：農牧省及び独自の作成

※ 推定値

表 2.1 2 - 3 みかん：収量 (Kg / ha)

期間	Total	Bs. As.	Corrient.	E. Rios	Jujuy	Salta	Santa Fe	Sgo del E.	Tucum.	その他
1976/77	11.905	10.952	14.400	10.196	17.895	14.286	18.571	13.750	11.429	-
1977/78	11.591	10.000	15.126	9.292	20.513	18.571	19.286	14.118	12.766	-
1978/79	10.252	9.524	12.640	9.152	9.542	9.459	17.323	9.524	12.100	-
1979/80	10.113	7.656	14.158	7.951	16.063	17.027	14.008	13.797	12.199	-
1980/81*	10.000	12.060	10.325	8.708	11.312	12.005	14.789	13.561	12.237	-
平均	10.772	10.038	13.330	9.060	15.065	14.270	16.795	12.950	12.146	-

出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

※ 推定値

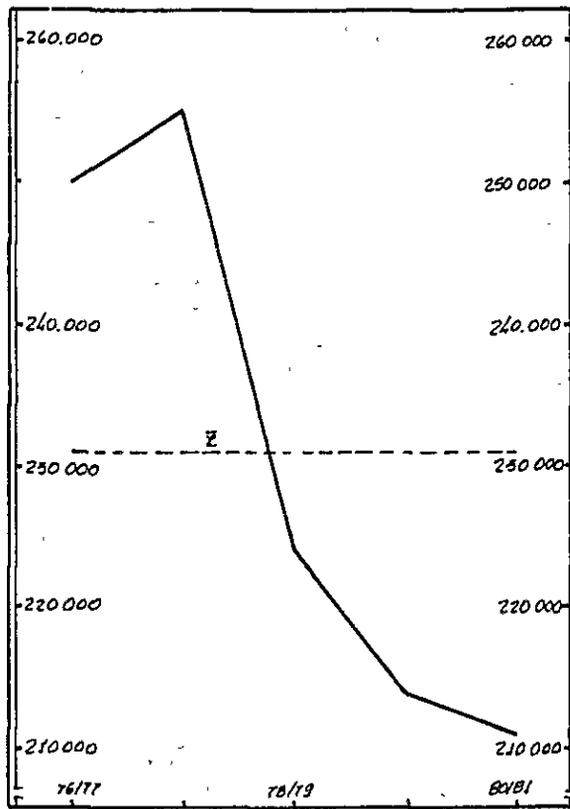
表 2.1 2 - 4 みかん：生産額 (トン)

期間	Total	Bs. As.	Corrient.	E. Rios	Jujuy	Salta	Santa Fe	Sgo del E.	Tucum.	その他
1976/77	250.000	23.000	36.000	104.000	17.000	10.000	26.000	11.000	16.000	7.000
1977/78	255.000	21.000	36.000	105.000	16.000	13.000	27.000	12.000	18.000	7.000
1978/79	224.000	20.000	31.600	102.500	7.300	7.000	22.000	8.000	17.000	8.600
1979/80	214.000	4.800	36.500	96.600	7.100	12.600	18.000	11.700	17.200	9.500
1980/81*	211.000	7.200	27.600	104.000	5.000	9.400	18.900	11.500	16.200	10.000
平均	230.800	15.200	33.540	102.520	10.480	14.400	22.380	10.840	17.020	8.420

出典：農牧省及び独自の作成

※ 推定値

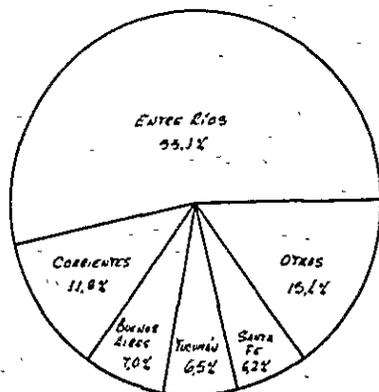
図 2.1 2 - 3 みかん：生産額の推移 1976/77 - 1980/81 5年間（トン）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

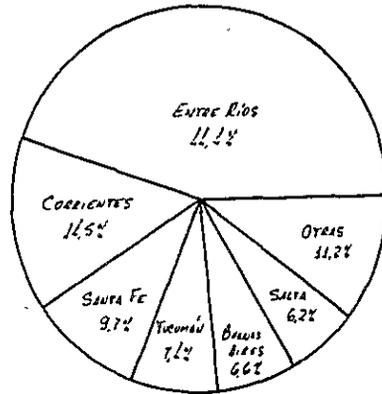
栽培面積及び生産額に関する各州の比較分布を図 2.1 2 - 4 と 2.1 2 - 5 とにそれぞれ表示する。主な生産州はエントレ・リオスであり、コリエンテスが第 2 位である。ブエノス・アイレス州は、栽培面積では第 3 位であるが、生産量に関しては、収量の多いサンタ・フェ及びトクマンの両州に次いで第 5 位となっている（図 2.1 6 - 6）。

図 2.1 2 - 4 みかん栽培面積のパーセント表示（1976/77 - 1980/81 平均）



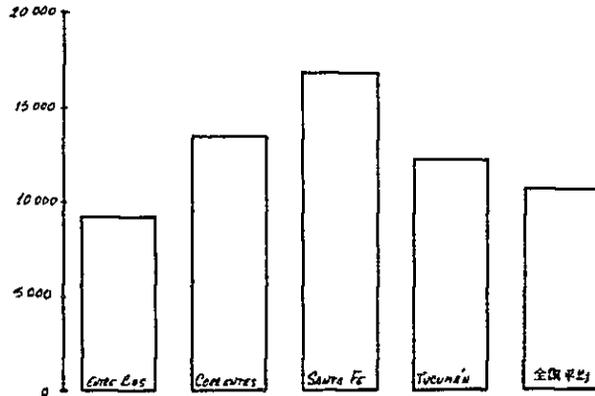
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 2 - 5 みかん：生産量のパーセント表示（1976/77 - 1980/81 平均）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 2 - 6 みかん：主要生産地の平均収量（1976/77 - 1980/81 5年間平均）（Kg/ha）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

2.12.2 流通及び消費

みかんは、消費量（推定）では柑橘類中で第3位であり、全果物消費量ではその約9%を占めている（表 2.1 5 - 5）。

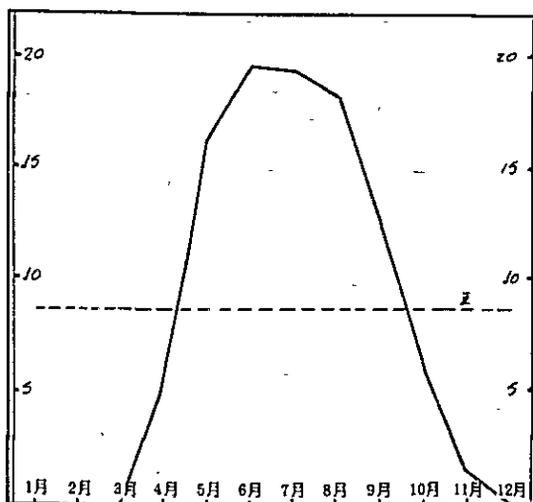
表 2.1 2 - 5 みかん：消費（推定）（Kg / 国民一人，年）

年	全果物	みかん	%
1970	118,178	9,708	8,2
1971	121,339	11,113	9,2
1972	106,537	9,301	8,7
1973	96,552	10,236	10,6
1974	126,701	9,116	7,2
1975	114,083	8,974	7,9
1976	104,313	8,844	8,5
1977	114,095	9,524	8,3
1978	95,168	9,587	10,0
1979	109,099	8,453	7,7
平均	110,607	9,485	8,6

出典：フランシスコ・ヒオピオの著作からの引用

みかんは典型的な季節果物で貯蔵が難しいため供給が一時期に、特に5月から9月迄に集中する(図 2.1 2-7)。

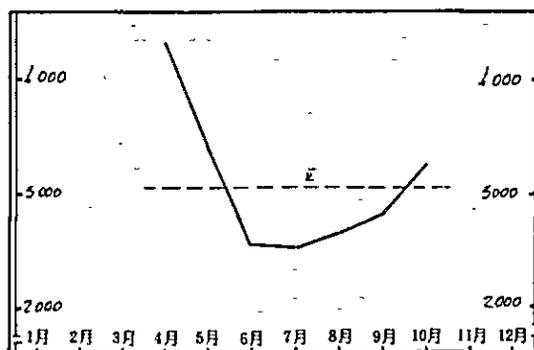
図 2.1 2-7 みかん：ドレゴ市場入荷量(1967-76平均)
各年全入荷量に対するパーセント表示



出典：農牧省-IICAの著作からの引用

価格は、数量に対して正反対の動きを示している(図 2.1 2-8)。すなわち、入荷数量が多い時、価格が下がっている。

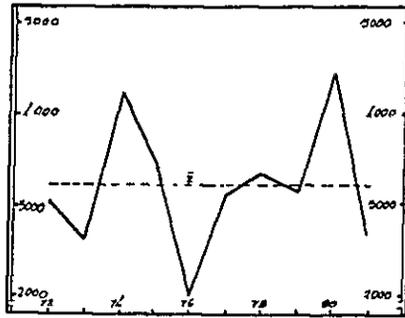
図 2.1 2-8 みかん：月別価格(1972-1981 10年間平均)
1981.12現在のペソで表示 (kg当り)※



出典：アバスト市場のデータに基づく独自の作成
※ 一般卸売物価指数 基準1960=100による実質化

一般的に言って、果物や野菜の各年毎の価格は、現行貨幣水準で表わすと、著しい変動を示す。みかんも、図 2.1 2-9から解るように、これの例外ではない。

図 2.1 2 - 9 ・ みかん：月別平均価格 1981.12.現在のペソで表示※



出典：連邦首都アバスト市場のデータに基づく独自の作成
 ※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

最後に、表 2.1 2 - 6 及び 2.1 2 - 7 に、最近 1 0 年間の連邦首都での月別価格を示す。

表 2.1 2 - 6 みかん：月別平均価格（当時のペソでの表示・kg 当り）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1972	-	-	1,2	1,3	1,1	0,9	0,6	1,0	1,1	-	-	-
1973	-	-	1,5	1,5	1,7	1,2	1,2	1,2	1,7	1,4	-	-
1974	-	-	-	2,8	2,6	2,0	2,1	2,1	2,8	3,7	4,6	-
1975	-	-	-	6,9	4,9	4,2	5,1	5,4	6,8	7,0	-	-
1976	-	-	-	30,8	24,0	17,6	20,6	26,1	23,5	23,5	-	-
1977	-	-	100,0	91,7	67,1	48,9	62,7	90,6	90,0	-	-	-
1978	-	-	-	241,1	186,6	182,5	210,4	223,0	238,4	354,7	-	-
1979	-	-	-	-	-	491,2	601,9	609,7	576,3	684,6	767,0	777,0
1980	750,0	-	-	1200,0	1130,0	976,0	935,0	1160,0	1200,0	1800,0	1800,0	2620,0
1981	-	-	-	-	1350,0	1097,0	954,0	985,0	1276,0	1488,0	2026,0	6000,0

出典：連邦首都アバスト市場

表 2.1 2 - 7 みかん：月別平均価格（1981.12.現在のペソで表示 kg 当り）※

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1972	-	-	4031	3957	3247	2536	2054	2544	2892	-	-	-	3037
1973	-	-	2878	2805	3033	2185	2148	2231	3000	2545	-	-	2603
1974	-	-	-	4781	4247	3234	3242	3151	4060	5198	6234	-	4268
1975	-	-	-	6893	4715	2798	2561	2345	2613	2486	-	-	3487
1976	-	-	-	3044	2265	1599	1743	2047	1695	1623	-	-	2002
1977	-	-	4798	4162	2863	1959	2375	3046	2824	-	-	-	3147
1978	-	-	-	4289	3046	2843	3123	3048	3054	4134	-	-	3362
1979	-	-	-	-	-	3014	3434	3034	2725	3203	3469	3428	3187
1980	3173	-	-	4519	4039	3250	3025	3647	3666	5218	5083	7341	4421
1981	-	-	-	-	2759	1889	1456	1375	1663	1827	2241	8000	2651
平均	-	-	-	4306	3357	2531	2516	2647	2819	3279	-	-	3216

出典：連邦首都アバスト市場のデータに基づく独自の作成
 ※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

2.12.3 外国貿易

みかんの輸出額は少ない(表2.18-8)。最近年における輸出国はオランダと西独である。

濃縮ジュース及び芳香油の輸出量もわずかである(表2.12-9)。これらの製品の主たる顧客はオランダである。

表2.18-8 みかん：輸出(箱入り)

国	1978	1979	1980	1981
オランダ	18.405	15.544	-	43.531
西独	-	38	-	-
Total	18.405	15.582	-	43.531

表2.12-9 みかん：仕向先国別濃縮ジュース及び芳香油の輸出額(キロ表示)

国	1975	1977(1)	1978	1975	1977(1)	1978
オランダ	-	77.075	155.330	-	-	534
西独	-	-	-	1.392	-	4.379
英国	-	-	-	-	-	1.011
フランス	-	-	-	-	1.406	2.837
エクアドル	-	-	-	-	-	114
スペイン	1.108	-	-	-	870	-
Total	1.108	77.075	155.330	1.392	2.276	8.875

出典：ガブリエル有限会社

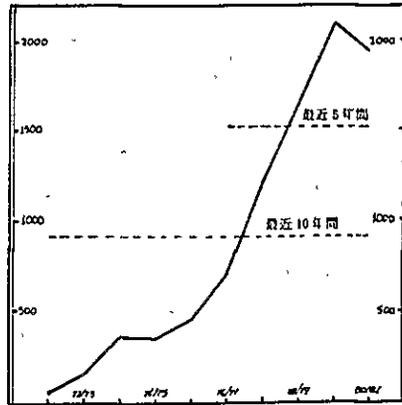
2.13 大豆

2.13.1 栽培及び生産

本商品の最近10年間の栽培と生産に関するデータを表2.13-1から2.13-3迄に示す。

該当期間中の播種面積は目覚ましい上昇を示している(図2.13-1)。最近5か年間の平均が10年間平均の約70%増となっていることを見れば、上昇傾向がいかに著しいかはっきりする。しかしながら、1980/81期になると、この10年間で初めて減少が記録されている。

図 2.13 - 1 大豆：栽培面積の推移 1971/72 - 1980/81 10年間 (千ha)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

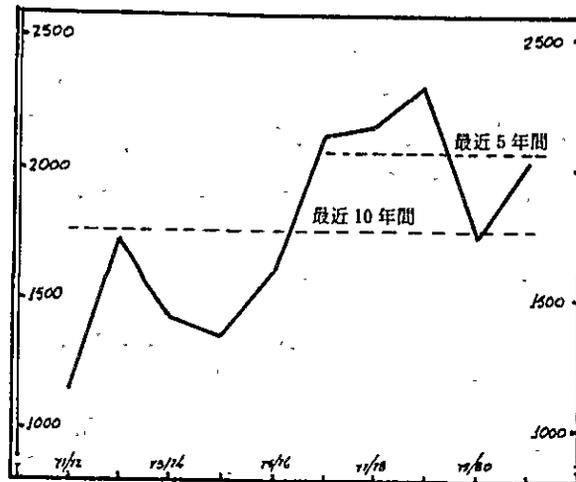
同様に収量も、多少の変動はあるが、上昇傾向を示している(図 2.13 - 2)。

表 2.13 - 1, 2.13 - 2, 2.13 - 3 最近10年間の大豆の栽培及び生産

期 間	Total	Buenos Aires	Catamarca	Córdoba	Corrientes	Chaco	Entre Ríos	Misiones	Salta	Santa Fe	Sgo. del Estero	Tucumán	その他 の州
播種面積 (千ヘクタール)													
1971/1972	79.6	1.6	---	0.8	5.2	1.0	---	25.2	0.4	37.0	---	8.5	0.1
1972/1973	169.4	5.2	---	2.0	6.4	2.0	---	36.5	0.7	100.0	---	15.0	1.6
1973/1974	376.7	57.1	---	32.9	16.1	2.6	4.2	44.0	2.7	190.0	0.8	23.6	2.7
1974/1975	369.5	39.4	---	46.0	17.9	2.3	2.2	26.1	0.4	216.0	0.5	24.0	1.7
1975/1976	442.5	43.5	0.3	74.0	18.4	2.7	2.3	25.6	---	250.0	0.3	24.9	0.5
1976/1977	710.0	52.0	0.4	104.0	26.0	1.8	9.0	35.0	3.0	435.0	1.3	36.0	6.5
1977/1978	1,200.0	133.0	0.7	132.0	47.5	2.0	15.6	32.0	12.2	714.0	7.2	52.6	1.0
1978/1979	1,640.0	262.0	0.8	263.0	46.0	2.0	35.3	32.8	25.0	879.0	10.5	75.0	2.5
1979/1980	2,100.0	470.0	2.0	343.0	48.0	3.0	40.0	32.0	24.0	1,000.0	43.7	85.0	9.3
1980/1981	1,925.0	459.0	2.1	359.5	26.1	0.1	21.5	26.0	9.2	920.0	20.0	80.4	2.2
平均	1,574.0	212.6	1.2	240.5	28.7	1.8	24.5	32.6	12.7	727.8	17.7	69.0	2.8
ヘクタール当り収量率 (kg)													
1971/1972	1.143	1.278	---	667	675	612	---	1.325	1.034	1.145	---	709	800
1972/1973	1.732	1.220	---	1.388	1.425	995	---	1.235	1.137	2.043	---	1.390	1.106
1973/1974	1.440	1.529	---	1.216	1.670	1.412	1.497	1.681	1.160	1.296	624	1.984	1.114
1974/1975	1.363	1.254	---	1.339	1.457	1.244	1.436	1.473	1.057	1.373	1.213	1.293	925
1975/1976	1.603	1.442	800	1.886	1.658	1.060	1.533	1.337	1.330	1.765	1,000	1.779	900
1976/1977	2.121	1.574	900	1.823	1.569	1.051	1.494	1.633	2.143	2.395	1,200	1.676	943
1977/1978	2.174	2.154	1,000	2.200	925	1,200	2.157	967	1.975	2.353	1,806	1.806	1,000
1978/1979	2.313	2.000	1,136	2.523	1.093	1.263	1.561	1,008	1.600	2.529	1,616	1.987	1,190
1979/1980	1.721	1.920	1,150	1.475	1.485	714	1.402	1.688	1.575	1.736	1,968	1.787	1,210
1980/1981	2.005	2.000	1,429	2.098	1.890	---	1.976	1.378	1.988	2.010	2,000	2.088	1,236
平均	2.047	1.950	1.125	2.035	1.594	822	1.678	1.395	1.893	2.208	1.750	1.855	1.115
生産額 (千トン)													
1971/1972	78.0	2.0	---	---	2.2	0.6	---	27.9	0.3	40.3	---	4.5	0.2
1972/1973	272.0	6.3	---	2.6	7.9	1.5	---	40.5	0.7	190.0	---	20.9	1.6
1973/1974	496.0	85.0	---	40.0	25.0	3.1	5.0	60.7	1.1	225.0	0.3	46.0	2.8
1974/1975	485.0	37.0	---	64.0	25.5	2.6	2.8	38.0	0.4	285.0	0.6	27.9	1.2
1975/1976	695.0	62.3	0.2	83.5	30.1	2.7	3.2	34.0	0.1	434.0	0.2	44.3	0.4
1976/1977	1,400.0	74.0	0.4	165.0	40.0	1.4	13.0	57.0	6.0	970.0	1.5	60.0	11.3
1977/1978	2,500.0	280.0	0.7	286.0	37.0	2.4	35.0	29.0	23.7	1,400.0	13.0	95.0	0.2
1978/1979	3,700.0	520.0	0.5	656.0	35.0	2.4	54.0	39.0	40.0	2,180.0	30.0	149.0	3.1
1979/1980	3,500.0	883.0	2.3	450.0	71.0	1.5	53.0	54.0	35.6	1,720.0	86.0	134.0	9.6
1980/1981	3,170.0	900.0	3.0	742.0	38.0	---	31.0	30.3	16.3	1,800.0	36.0	161.0	2.1
平均	2,472.0	481.0	1.2	459.8	22.2	1.6	35.8	40.7	21.5	1,271.2	21.7	120.6	3.2

出典：農牧省及び独自の作成

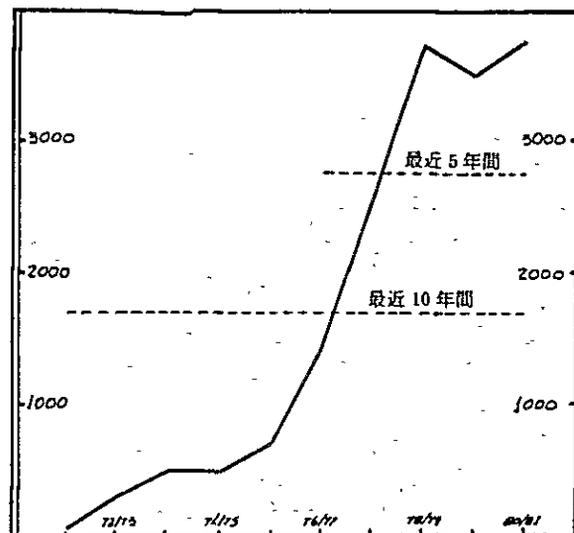
図 2.13-2 大豆：収量の推移（1971/72 - 1980/81 10年間）（Kg / ha）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

この栽培面積と収量の上昇傾向の結果、最近10年間の生産量は、当初の80,000トンから約380万トンに迄増加したが（図 2.13-3）、最近5か年間の平均は297万4千トン、最近10年間平均は169万トンである。

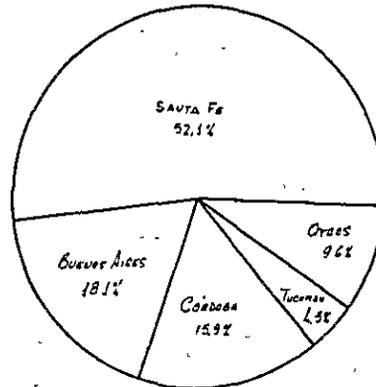
図 2.13-3 大豆：生産量の推移（千トン）（1971/72 - 1980/81 平均）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

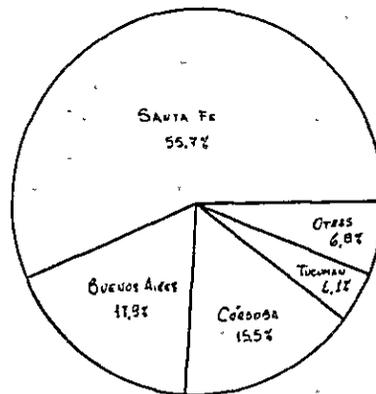
主な生産州はサンタ・フェ州であり、栽培面積と生産量は全体の50%強を占めている。これに次ぐ州が、ブエノス・アイレス及びコルドバである（図 2.13-4 及び 2.13-5）。これらの3州で、全栽培面積の86%と全生産額の90%を占める。

図 2.1 3 - 4 大豆：栽培面積のパーセント表示 (1976/77 - 1980/81 平均)



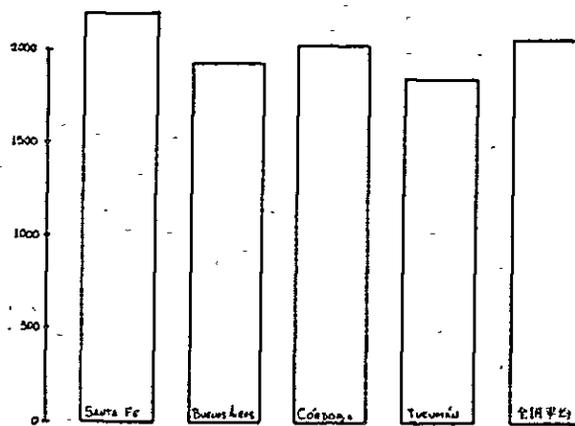
出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 3 - 5 大豆：生産量のパーセント表示 (1976/77 - 1980/81 平均)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 3 - 6 大豆：主要生産州の平均収益率 (1976/77 - 1980/81 5 年間平均)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

トゥクマン州も、多少生産している。広い栽培面積を持つこれらの州の収量は、互いに大きな差はない(図 2.1 3 - 6)。

2.18.2 流 通

表 2.13-4 及び 2.13-5 に、プエノス・アイレス穀物取引所の月別価格を示す。

表 2.13-4 大豆：月別平均価格（当時のペソで表示 キンタール当り）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1972	50	50	51	71	91	96	102	108	126	134	138	138
1973	140	125	126	135	150	141	150	150	136	149	150	151
1974	150	150	154	155	156	160	162	181	186	224	176	160
1975	167	196	194	195	196	229	329	352	471	721	644	657
1976	988	1774	1927	2162	2607	3843	5033	4912	4811	4217	4255	5160
1977	6469	6340	7739	9800	9743	8557	7124	6864	6773	7343	8109	8655
1978	9273	9000	11486	14865	15767	15424	14382	15909	18619	19386	20014	20511
1979	22100	24805	24609	24895	25245	30725	33595	32564	31750	32252	31882	31500
1980	20627	24195	24581	24345	26033	29205	37173	40905	42982	44955	51150	54526
1981	48925	45925	48147	62833	69132	91381	113841	120750	118136	143841	166049	166474

出典：プエノスアイレス穀物取引所

表 2.13-5 大豆：月別平均価格（1981.12.現在のペソで表示 キンタール当り）※

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1972	182249	171462	169695	225364	276746	274821	279849	288842	322776	332900	366988	326072	268147
1973	314253	262490	247896	255993	269200	256381	275335	271552	246481	268598	273788	272679	267887
1974	269347	268278	274891	269474	260415	257422	254198	274841	273239	317759	239266	211744	264239
1975	207874	216767	202603	196232	187434	152545	165891	153995	182300	256010	207990	193987	193636
1976	244107	340810	240249	213411	245660	345851	426904	385621	347046	291289	275073	313295	305776
1977	345166	316119	371356	444704	415890	342528	269793	230864	212489	202674	207615	212679	297656
1978	206640	190494	222886	264463	257396	240275	213544	217444	238547	225944	214950	207100	224974
1979	202790	210842	193574	183940	171111	188498	191693	162071	150114	150907	144202	138978	174061
1980	87273	98304	96161	91683	93042	97253	120255	128605	131310	130325	144448	152782	114287
1981	133810	119405	119453	138735	141306	157358	173721	168567	153931	176637	183650	166474	152754
MEDIA	219351	219497	213876	228401	231820	231293	237118	228240	225823	235304	225797	219579	226742

出典：プエノスアイレス穀物取引所

※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

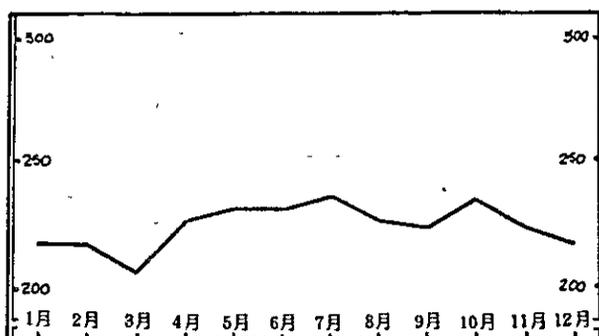
図 2.13-7 の通り、大豆の価格は近年の下降状況ある。図 2.13-8 では、各年全入荷量に対する月別価格を示す。

図 2.13-7 大豆：ブエノス・アイレス穀物取引所での年別平均価格（1981.12.現在のペソで表示 キンタル当り）(1)



出典：穀物取引所のデータに基づく独自の作成

図 2.13-8 大豆：月別平均価格（1981.12.現在のペソで表示 キンタール当り）※



出典：穀物取引所のデータに基づく独自の作成

※ 一般卸売物価指数 基準1960 = 100 による実質化

2.13.3 加工

大豆には数多くの用途がある。他の油質の豆と同様、油を取り、これを液状のまま消費者の食卓に供することが出来るし、あるいは、水素添加を行ってマーガリンとして供給することも可能である。さらに、石けん、薬品、消毒剤等の工業的な用途もある。

大豆は又、粉とすることも出来るが、その品質は脂肪分の多少によって決定される。脂肪分の多い粉は、加工を施していない豆から作られる。脂肪分の少ない粉は、搾油機を通した後の豆から作られる（搾油機械的方法）脱脂粉は、溶剤と共に搾り取った後の豆から作られる。

大豆の粉は、人間及び家畜のための様々な食料の加工用に、あるいは、食料以外の工業用原料として、にかわの生産用として等々、利用することが出来る。

油を搾り取った後の残りはペレットで供給され、家畜飼料として非常に大切である。

我が国の大豆油の生産は最近10年間著しく増加し、当初の生産量は、原料換算で約21,000

トンであった。1980年になると原料加工量は72万トン以上となり、油の平均収益率が19%となった結果、約14万5千トンの大豆油が得られることとなった。これは、1979年のものより約30倍増となっている。

これは、原料の大豆の生産量が増加したこと及び搾油が増加したことによる。

加工される大豆は、全生産量の約20%を占めている。

我が国の大豆粉の加工量は、国家穀物委員会によれば、1980年に596,400トン迄に達したが、この数字は、1979年より11%増の年間生産量最高記録となっている。

1981年の最初の7か月間の大豆粉の加工量は、前年度同期の288,000トンに対し、246,100トンであった。各製品の価格を表2.13-6、2.13-7及び2.13-8に示す。

表2.13-6 大豆油-当時の価格と特定の貨幣水準とで表示した平均価格 100kg当り

年	1976		1977		1978		1979		1980	
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-
1	S/C	データ無し	16,181.00	21.63	33,741.00	18.11	71,614.00	14.24	112,273.00	11.38
2	S/C	データ無し	17,963.00	21.83	36,900.00	18.83	79,078.00	14.36	124,833.00	12.30
3	S/C	データ無し	22,991.00	27.28	47,974.00	22.89	82,068.00	15.80	114,998.00	18.78
4	7,253.30	16.45	24,369.00	27.35	51,723.00	27.99	87,474.00	18.79	99,700.00	9.03
5	7,520.00	19.36	26,276.00	24.08	55,181.00	23.16	85,375.00	14.20	104,410.00	7.44
6	8,077.00	17.10	27,800.00	27.87	59,893.00	27.81	93,880.00	14.18	108,379.00	9.49
7	S/C	データ無し	26,478.00	23.22	57,000.00	26.88	108,190.00	15.34	127,368.00	19.87
8	S/C	データ無し	25,069.00	21.87	57,091.00	19.28	108,438.00	15.48	147,199.00	11.28
9	S/C	データ無し	26,145.00	20.36	51,419.00	19.69	114,480.00	15.68	153,138.00	11.69
10	S/C	データ無し	28,271.00	17.33	64,523.00	19.56	113,217.00	15.04	148,991.00	10.29
11	S/C	データ無し	28,286.00	16.88	74,727.00	20.29	108,806.00	12.09	144,108.00	9.49
12	14,457.00	23.08	30,780.00	18.49	71,778.00	18.07	110,000.00	11.84	152,211.00	9.43
平均	9,327.00	18.04	24,481.00	22.49	56,138.00	20.35	96,851.00	14.37	128,823.00	10.41

註：-1- 当時の価格で表示した平均価格
 -2- 1960年のペソで表示した平均価格。農牧品以外の全卸売物価指数
 基準 1960 = 100 による修正計算
 出典：ブエノスアイレス穀物取引所

表2.13-7 大豆のペレット(消費)-当時の価格と特定の貨幣水準とで表示した平均価格 1,000kg当り

年	1976		1977		1978		1979		1980	
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-
1	S/C	データ無し	79,429.00	94.15	112,227.00	89.95	231,727.00	52.55	380,687.00	39.78
2	S/C	データ無し	71,325.00	88.67	116,700.00	59.66	250,050.00	52.43	470,987.00	46.10
3	S/C	データ無し	83,043.00	89.06	151,714.00	71.74	235,727.00	45.39	396,867.00	37.33
4	24,143.00	54.43	107,421.00	11.49	171,000.00	74.79	251,368.00	45.36	337,252.00	38.62
5	27,400.00	54.83	109,767.00	14.07	156,905.00	62.76	260,250.00	43.19	347,819.00	38.22
6	40,227.90	65.17	96,150.00	96.73	146,619.00	35.36	317,730.00	48.15	344,211.00	28.14
7	49,574.00	1,160	79,176.00	46.54	147,333.00	51.15	327,887.00	46.47	455,024.00	34.49
8	46,143.00	89.37	69,309.00	68.43	148,400.00	50.12	304,884.00	39.00	469,524.00	40.58
9	46,636.00	84.27	70,432.00	54.85	161,234.00	51.53	407,500.00	36.79	501,814.00	37.35
10	41,524.00	71.08	78,786.00	54.03	178,727.00	52.51	329,565.00	37.95	508,091.00	40.58
11	43,073.00	69.57	93,073.00	54.64	176,545.00	53.35	318,464.00	37.76	719,000.00	49.16
12	54,709.00	85.75	104,350.00	62.76	203,211.00	51.27	361,944.00	38.96	654,947.00	42.99
平均	41,654.00	74.87	84,664.00	69.24	157,193.00	57.91	293,455.00	43.67	470,897.00	37.62

註：-1-,-2- 表2.13-6に同じ 出典：ブエノスアイレス穀物取引所

表2.13-8 大豆のペレット(輸出)-当時の価格と特定の貨幣水準とで表示した平均価格 1,000kg当り

年	1976		1977		1978		1979		1980	
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-
1	8,343.00	49.95	64,681.00	87.78	95,136.00	51.67	121,227.00	50.17	345,068.00	
2	15,000.00	70.80	60,200.00	84.79	100,000.00	51.04	239,100.00	50.14	450,000.00	
3	16,267.00	99.61	80,751.00	95.64	176,192.00	59.87	220,455.00	42.45	332,517.00	
4	21,644.00	47.60	99,789.00	12.01	137,850.00	59.97	231,844.00	41.84	252,508.00	
5	25,000.00	50.35	105,420.00	12.45	139,344.00	63.85	235,855.00	39.14	290,000.00	
6	36,432.00	77.13	102,800.00	3.12	178,344.00	57.35	285,150.00	43.21	315,104.00	
7	46,190.00	94.76	85,767.00	61.80	136,809.00	48.16	277,887.00	40.16	755,104.00	
8	43,143.00	83.56	63,881.00	53.85	143,957.00	48.61	283,638.00	39.61	493,183.00	
9	44,066.00	79.63	67,187.00	53.88	153,210.00	49.75	278,000.00	39.26	444,645.00	
10	39,524.00	64.73	75,785.00	52.64	173,446.00	56.75	329,565.00	37.95	628,182.00	
11	47,318.00	84.43	90,703.00	57.22	187,909.00	51.11	100,000.00	33.43	523,000.00	
12	54,725.00	83.50	96,509.00	58.04	202,111.00	50.89	116,333.00	34.27	570,474.00	
平均	32,859.00	67.31	82,014.00	77.79	144,602.00	52.58	270,085.00	40.32	462,339.00	

註：-1-,-2- 出典：)表2.13-6に同じ

2.13.4 外国貿易

大豆の輸出量は短期間に著しい増加を示し、特に1976年以降はその数量と金額とが急速に伸びて来ている。

表 2.13-9 大豆：加工使用量及び輸出量とその金額

年	加工使用量 ト (1)	輸出数量 千ト (2)	輸出金額 千ペソ (3)	輸出金額 1960年基 準表示千 ペソ(4)	全世界生 産千 トン (5)
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
1965	--	--	--	--	36,507
1966	--	--	--	--	39,080
1967	3,400	--	--	--	40,735
1968	11,832	--	--	--	43,998
1969	13,462	--	--	--	45,188
1970	20,918	--	--	--	46,474
1971	32,741	--	--	--	48,477
1972	46,555	--	--	--	52,340
1973	104,474	--	--	--	62,311
1974	246,453	--	--	--	56,969
1975	498,518	--	--	--	69,670
1976	484,424	77	297,200	6,435	63,064
1977	568,337	513	74,241,072	69,966	79,206
1978	646,744	1,985	696,701,517	251,123	80,518
1979	660,489	2,810	853,631,217	123,695	94,323
1980	720,104	2,709	--	--	85,785

出典：国家穀物委員会 (J.N.C.)
出典：国家統計局貿易局 (INDEC)
出典：INDEC
出典：POD

表 2.13-10 仕向先国別大豆の輸出額 (トン)

国	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980
西ベ	--	--	2,000	52,192	163,729	90,823	186,458
ル	--	--	--	65,266	106,233	55,636	--
ギ	--	--	--	2,443	235	--	--
ボ	--	--	--	--	6,000	62,761	247,386
リ	--	--	--	--	27,627	--	12,448
ラ	--	--	--	--	33,135	101,917	--
北	--	--	--	--	5,994	35,468	17,228
中	--	--	--	--	234,572	346,303	356,981
テ	--	--	--	--	57,913	56,181	56,706
ス	--	--	--	--	12,721	25,300	--
フ	--	--	74,913	266,784	769,031	1,248,315	564,343
ギ	--	--	--	990	--	--	--
オ	--	--	--	--	10	--	--
イ	--	--	--	84,481	256,146	408,262	313,053
イ	--	--	--	2,825	--	13,670	16,042
日	--	--	--	6,700	34,603	16,194	22,328
レ	--	--	--	11,519	10,783	--	--
モ	--	--	--	54,733	62,000	18,100	--
ノ	--	--	--	15,480	--	--	10,052
英	--	--	--	--	95,127	86,414	54,472
ル	--	--	--	7,750	16,190	28,274	--
ン	--	--	--	18,737	6,941	2,003	853
ソ	--	--	--	--	33,250	--	746,730
ウ	--	--	--	--	11,347	--	--
グ	--	--	--	17,212	16,698	--	--
エ	--	--	--	--	--	105,550	55,628
の	--	--	--	--	--	--	--
他	--	--	--	--	--	--	--
諸	--	--	--	--	--	--	--
国	--	--	--	--	--	--	--
TOTALS	--	--	76,913	613,106	1,984,759	2,809,787	2,709,418

出典：J.N.C. (国家穀物委員会)

1981年の上半期に於て輸出額の著しい増加が見られるが、これは部分的には生産量の増加によるものである。

ソ連との間に輸出契約が出来ていて、当国への年間50万トンの大豆の輸出が見込まれている。

表 2.13-11 に、1980年後半と1981年前半の各月の国際価格の推移を示す。この間の価格の動向は、大豆の世界的供給不足の影響を受けている。

仕入先国別大豆油輸出額を表 2.13-12 に、そして、最近の各月のシカゴ及びロッテルダム市場での価格推移を表 2.13-13 及び表 2.13-14 に示す。

表 2.13-11 大豆：シカゴ市場（シカゴ商業会議所）での価格の推移 1980.8 - 1981.7

	1980					1981						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
公称価格 US\$/トン (1)	280.92	308.14	315.03	340.05	293.08	288.85	275.65	277.62	288.25	283.13	264.96	269.17
パーセント 表示変動 (2)	+4.0	+9.7	+2.2	+7.9	-13.8	-1.4	-4.6	+0.7	+3.8	-1.8	-6.4	+1.4

注：(1)最も近い数字 (2)前月度比 出典：穀物取引所 年報 1981

表 2.13-12 仕向先国別大豆油輸出額（トン）

年	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980*
西独	--	--	160	1,205	--	--	2,518
リヴ	--	1,217	896	6,481	5,529	3,598	6,496
アラ	--	--	--	--	--	32,430	14,441
チバ	--	--	330	8,167	13,881	7,234	29,997
スイ	--	373	--	--	--	500	--
オイ	18,837	9,250	2,921	7,384	806	2,019	--
イラ	--	--	--	--	15,243	--	--
日モ	--	--	7,450	7,900	5,587	--	--
パキ	--	2,398	301	--	--	--	--
ベネ	--	3,150	2,960	--	--	11,242	8,498
南ア	--	--	14,770	--	16,319	50	5,299
トル	998	521	2,742	817	462	538	1,851
ウグ	--	1,000	--	--	2,991	6,686	--
ソル	5,373	2,287	1,200	200	--	700	4,000
ベネ	--	--	--	--	--	--	--
ユー	--	--	8,804	--	4,059	10,999	--
その他	12,890	--	13,732	920	3,456	4,790	4,471
TOTALS	38,098	20,526	64,103	39,818	65,864	80,786	86,813

出典：INDEC

表 2.13-13 大豆油：シカゴ市場（シカゴ商業会議所）での価格の推移 1980.8 - 1981.7

	1980					1981						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
公称価格 US\$/トン (1)	583.39	593.42	579.92	615.20	552.25	540.76	525.17	539.29	539.89	522.98	493.35	517.53
パーセント 表示変動 (2)	-0.3	+1.7	-2.3	+6.1	-10.2	-2.1	-2.9	+2.7	+0.1	-3.1	-5.7	+4.9

注：(1)最も近い数字 (2)前月度比 出典：穀物取引所 年報 1981

表 2.13-14 大豆油：ロッテルダム市場での価格の推移 1980.8 - 1981.7

	1980					1981						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
公称価格 US\$/トン (1)	635.01	617.10	594.71	626.59	576.92	549.49	511.82	524.52	534.25	516.95	507.98	529.65
パーセント 表示変動	-0.4	-2.8	-3.6	+5.4	-7.9	-4.8	-6.9	+2.5	+1.9	-3.2	-1.7	+4.3

注：(1)最も近い数字 (2)前年度比 出典：穀物取引所 年報 1981

2.14 落花生

2.14.1 栽培及び生産

落花生の生産は、機械による収穫が可能になったため1955年又は1956年以降、高水準に達した。

1965/66以降1970/71迄の期間は、高い耕作費と並以下の収量、単作農法、さらに有利な商品が他にあること等があったため、播種面積の減少が見られた。

これ以降の各年の価格を表2.14-1、2.14-2及び2.14-3に示す。

表2.14-1、2.14-2、2.14-3

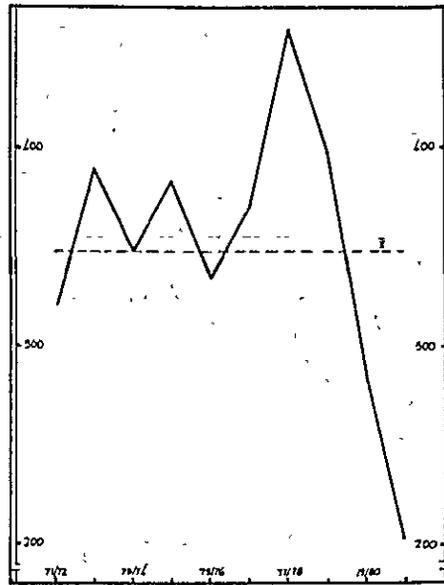
最近10年間の穀付落花生のデータ栽培及び生産

期間	Total	Córdoba	Corrientes	Misiones	Salta	Santa Fe	その他の州
種蒔面積(千ヘクタール)							
1971/1972	320.9	314.3	3.5	0.3	0.2	1.2	1.4
1972/1973	308.9	304.0	1.8	0.3	0.1	1.5	1.2
1973/1974	349.5	345.5	0.5	0.3	0.1	2.0	1.1
1974/1975	383.2	380.0	0.8	0.3	0.1	1.7	0.5
1975/1976	335.0	333.0	0.5	0.2	0.1	1.1	0.1
1976/1977	370.0	367.0	0.6	0.3	0.3	1.2	0.6
1977/1978	452.0	449.5	0.9	0.1	0.2	0.3	1.0
1978/1979	400.0	390.0	0.5	0.1	5.3	0.6	5.5
1979/1980	286.6	280.0	0.6	0.1	0.9	0.5	1.5
1980/1981	201.3	199.0	0.4	0.1	0.1	0.3	1.1
平均	348.7	344.2	1.0	0.2	0.5	1.0	1.2
ヘクタール当り収益率(Kg)							
1971/1972	858	857	802	522	1.333	1.140	2.355
1972/1973	1.161	1.162	1.127	352	1.500	1.128	2.537
1973/1974	842	839	1.178	652	1.429	1.324	1.150
1974/1975	1.052	1.051	972	1.111	1.625	1.295	1.625
1975/1976	1.094	1.094	1.068	1.065	1.628	1.174	1.628
1976/1977	1.635	1.637	1.047	1.235	1.529	1.228	2.629
1977/1978	864	861	930	830	1.500	1.538	3.062
1978/1979	1.700	1.708	1.112	592	1.660	1.420	2.650
1979/1980	1.048	1.324	533	811	968	1.208	2.160
1980/1981	1.189	2.016	666	947	994	1.562	-
平均	1.114	1.255	943	812	1.117	1.302	1.945
生産額(千トン)							
1971/1972	252.0	247.6	1.7	0.1	0.2	1.2	1.2
1972/1973	440.0	435.4	1.9	0.1	0.1	1.3	1.2
1973/1974	290.0	286.0	0.5	0.2	0.1	2.1	1.1
1974/1975	375.2	372.0	0.7	0.3	0.1	1.6	0.5
1975/1976	337.9	335.7	0.5	0.2	0.1	1.3	0.1
1976/1977	600.0	598.0	0.5	0.1	0.3	0.7	0.4
1977/1978	370.0	366.4	0.8	0.1	0.3	0.4	1.9
1978/1979	667.4	654.0	0.5	0.1	8.8	0.6	5.4
1979/1980	292.5	268.3	0.3	0.1	0.8	0.6	2.4
1980/1981	237.3	236.5	0.3	0.1	0.1	0.3	-
平均	386.2	382.0	0.8	0.1	1.1	1.2	1.2

出典：農牧省及び独自の作成

図2.14-1で解かるように、播種面積は1971/72と1976/77の期間中に小さな変動を示した後、1977/78に最高水準に達した。この後、下降を続け、1980/81にはやっと20万トンを超える水準に下がった。

図 2.1 4 - 1 落花生：栽培面積の推移 1971/72 - 1980/81 10 年間（千トン）

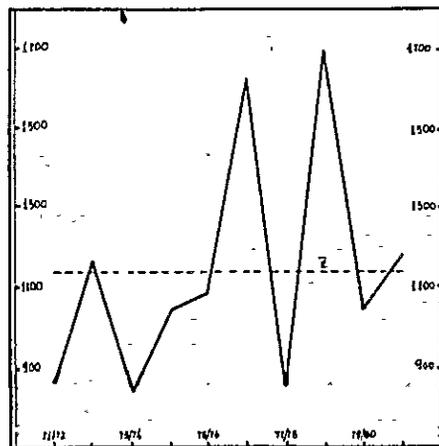


出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

収量の推移（図 2.1 4 - 2）に関して言えば、かなりの変動が見られる。

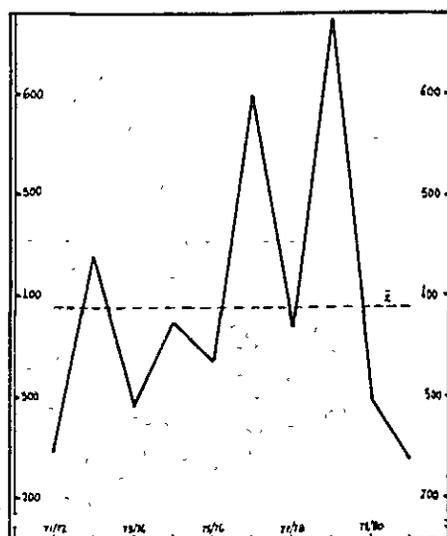
この結果、生産量の変動も著しいものとなり（図 2.1 4 - 3 ）、近年では、栽培面積の減少により明らかな下降傾向を示している。

図 2.1 4 - 2 落花生：収量の推移（kg / ha）1971/72 - 1980/81 10 年間



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 4 - 3 落花生：生産量の推移 1971/72 - 1980/81 10 年間平均（千トン）

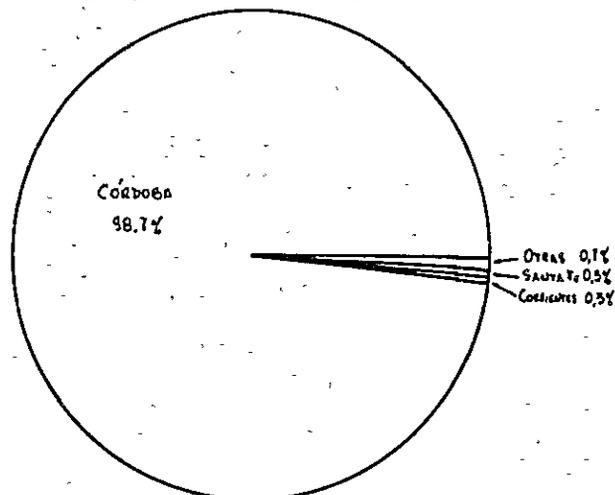


出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

栽培面積の殆ど大部分はコルドバ州に集中しており（図 2.1 4 - 4 ）、全生産量の約 9 9 % を占めている（図 2.1 4 - 5 ）。

主要生産州の収量を図 2.1 4 - 6 に示す。

図 2.1 4 - 4 落花生：栽培面積のパーセント表示（1971/72 - 1980/81 平均）



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

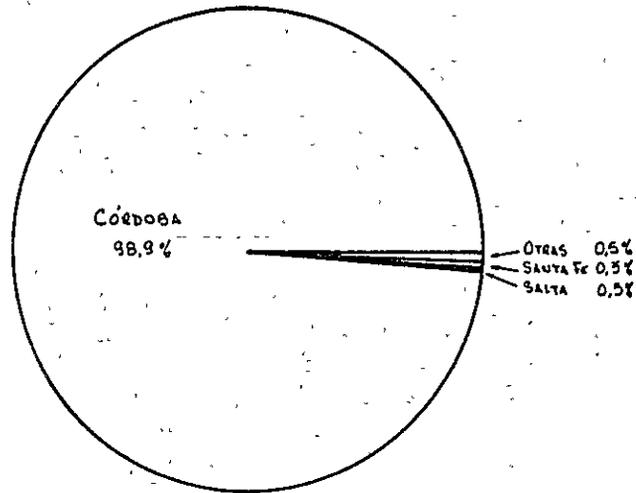
2.14.2 流 通

表 2.1 4 - 4 から 2.1 4 - 7 迄に、ブエノス・アイレス穀物取引所での製品別価格を示す。

表 2.1 4 - 7 から 2.1 4 - 1 0 迄には、最近 1 0 年間の季節毎の推移を示す。

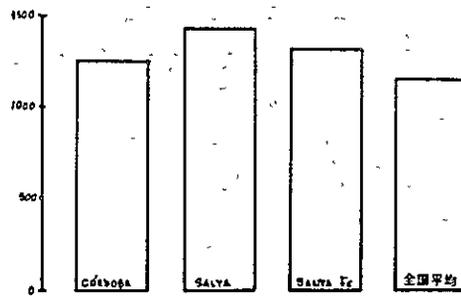
一般的に言って、最近の価格は下降気味である。

図 2.1 4 - 5 落花生：生産量のパーセント表示 1971/72 - 1980/81 10 年間平均



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

図 2.1 4 - 6 落花生：主要生産州の平均量 (1971/72 - 1980/81 10 年間平均) (Kg/ha)



出典：農牧省のデータに基づく独自の作成

表 2.1 4 - 4 菓子用殻無し落花生：月別平均価格 (当時のペソで表示 キントール当り)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
1972	102	109	111	125	162	159	155	158	165	171	182	200
1973	215	210	227	239	240	228	242	250	250	250	279	284
1974	290	290	293	316	345	352	336	343	333	382	361	389
1975	379	400	425	430	475	503	660	675	873	1414	1731	1800
1976	1910	3284	3750	4125	4750	6773	9143	8500	8500	9452	10500	12775
1977	15452	17600	17609	19842	21000	20143	19048	20000	20000	23809	26318	29400
1978	31727	32000	33428	35300	41667	46143	48238	46227	51476	55000	54091	50000
1979	50000	50000	50000	55263	60000	60000	64048	65000	65000	65000	65000	65000
1980	65727	74571	75476	81739	87381	90789	91364	95000	98636	132727	307000	367368
1981	377143	347000	350000	352000	414737	445909	425455	480000	480000	428182	373333	350000

出典：ブエノスアイレス穀物取引所

表 2.1 4 - 5 菓子用殻無し落花生：月別平均価格

(1981. 12.現在のペソで表示 キンタール当り)※

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1972	373683	374954	368234	394767	492067	453049	424470	422484	422214	424247	443962	470474	422050
1973	483613	440983	448479	452853	430663	415185	444024	453494	451860	451243	509246	511417	457755
1974	520738	518671	521790	548944	573792	565782	526847	522833	490212	542627	490729	515423	528199
1975	471762	442381	443846	432716	454241	335066	332790	295302	337893	502077	559054	531472	428217
1976	471908	630902	467531	407179	447597	609536	775518	667301	611156	652897	678793	775647	599830
1977	824472	847637	844968	900390	896406	806304	721367	672680	627460	657152	673820	722446	766258
1978	707004	677312	648670	628022	680214	718816	716238	631831	659511	641025	580937	504850	649536
1979	458800	425000	393300	408338	406680	368100	365458	323505	307320	304135	293995	286780	361784
1980	276091	302982	295262	307829	312300	302327	295563	298680	301333	384776	666968	1029365	414623
1981	1031486	902200	668350	777216	847722	767855	593915	670080	625440	525807	412906	350000	697750
MEDIA	562158	556302	530043	525825	513268	534202	519621	495819	483640	508599	551033	569787	513600

出典：ブエノスアイレス穀物取引所のデータに基づく独自の作成

※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

表 2.1 4 - 6 加工用殻無し落花生：月別平均価格（当時のペソで表示 キンタール当り）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1972	90	82	89	111	126	123	119	125	138	138	152	175
1973	182	184	175	167	187	180	187	194	192	199	189	214
1974	227	234	243	239	267	273	262	288	265	328	218	186
1975	202	304	312	319	341	398	561	662	742	971	999	1093
1976	1622	2658	2860	3371	3685	6173	7848	6560	6655	6833	7145	8535
1977	9919	10950	11370	12742	13556	11853	11133	13195	13142	14795	16464	19610
1978	21600	22420	24548	30103	34524	33857	32310	31820	n/c	n/c	n/c	n/c
1979	n/c	n/c	n/c	n/c	n/c	44444	47309	46577	48975	44273	17308	n/c
1980	51056	51500	n/c	n/c	50143	50000	n/c	n/c	n/c	n/c	n/c	n/c
1981	n/c											

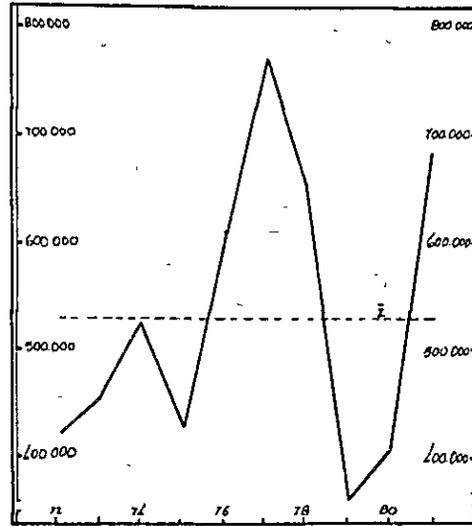
出典：ブエノスアイレス穀物取引所仲裁会議所

表 2.1 4 - 7 加工用殻無し落花生：月別平均価格（1981. 12.現在のペソで表示 キンタール当り）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1972	329870	281712	292704	352923	382509	336153	325883	334371	354199	343160	369148	411606	312020
1973	407811	386532	345615	316698	335200	327515	342462	352819	346794	359009	344189	385419	354172
1974	407200	417995	433129	415077	444001	438953	427313	438860	390552	466440	296871	246152	401875
1975	251441	336209	325835	321015	326097	265122	282872	289615	287190	344779	322643	322721	306295
1976	400751	510639	356570	332751	347241	555539	665675	514999	480065	472989	461905	518211	468026
1977	529248	545978	545589	578206	578651	474464	421618	443801	412304	408357	421528	481877	486802
1978	481334	474542	476354	535562	563604	527424	479739	434916	n/c	n/c	n/c	n/c	496684
1979	n/c	n/c	n/c	n/c	n/c	272664	269945	231814	231554	207153	213974	n/c	237851
1980	216018	209244	n/c	n/c	179211	166500	n/c	n/c	n/c	n/c	n/c	n/c	192743
1981	n/c												
MEDIA	377959	395355	396542	407461	394563	373812	401937	380149	344931	371554	347177	394320	361830

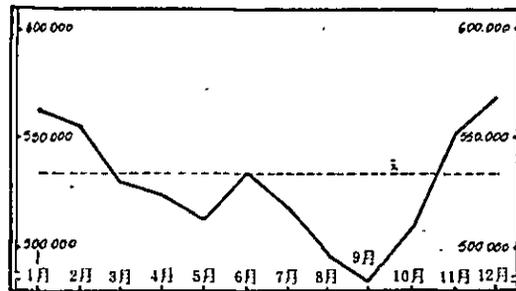
出典：ブエノスアイレス穀物取引所のデータに基づく独自の作成

図 2.1 4 - 7 菓子用殻無し落花生：年別平均価格 (1981. 12.現在のペソで表示 キンタール当り)※



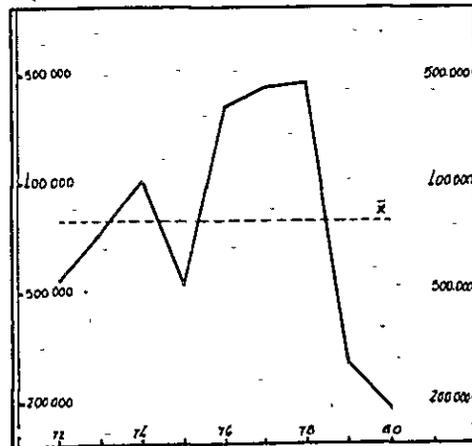
出典：ブエノスアイレス穀物取引所のデータに基づく独自の作成
 ※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

図 2.1 4 - 8 菓子用殻無し落花生：月別価格 (1981. 12.現在のペソで表示 キンタール当り)※



出典：ブエノスアイレス穀物取引所のデータに基づく独自の作成
 ※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

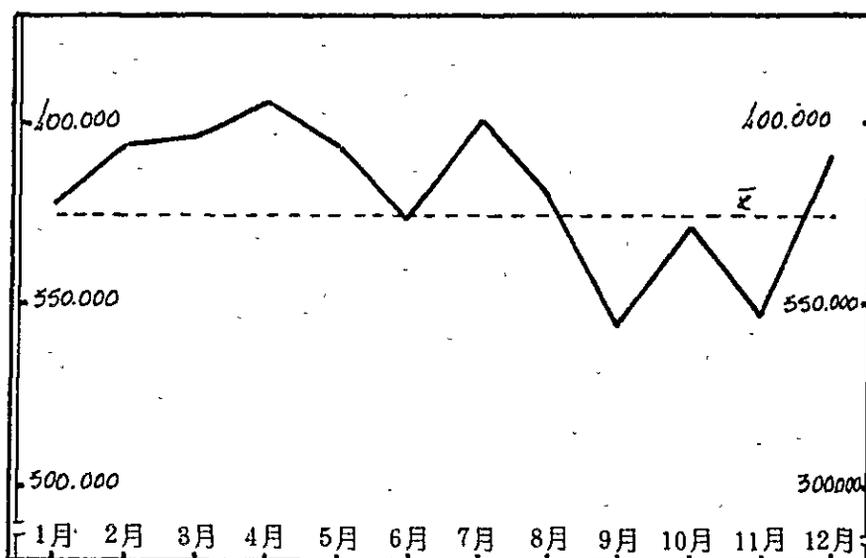
図 2.1 4 - 9 加工用殻無し落花生：年別平均価格 (1981. 12.現在のペソで表示 キンタール当り)※



出典：ブエノスアイレス穀物取引所のデータに基づく独自の作成
 ※ 一般卸売物価指数 基準 1960 = 100 による実質化

図 2.14-10 加工用殻無し落花生：月別平均価格

(1981.12.現在のペソで表示 キンタール当り)※



出典：ブエノスアイレス穀物取引所のデータに基づく独自の作成

※ 一般卸売物価指数基準 1960 = 100 による実質化

1980年は、落花生油加工用の需要が非常に落込み、価格も下がった。1981年は、ブエノスアイレス穀物取引所では取引が行なわれていない。

これに反し、菓子用殻無しの価格の動きはしっかりとしている。

国際価格は、1981年度、アメリカの収穫量が少なかったため、かなり上昇した。これと国内の収穫量が低水準であったため国内市場の価格はかなり好転した。

このため、油加工業者は、落花生に変えて他の油質の豆を使用するようになっている。

2.14.3 加工

落花生の主な加工用途は落花生油であり、これが全生産量の65～75%を占めている。これの10%は種として使われている。食用としての直接消費は15%以下で、炒り用と菓子用との2種に区別出来る。

落花生のかす、くず及び粉は、飼料用として使用される。

全生産量の約半分は協同組合により買付されているが、この外に、この協同組合の競争相手であり、仲間同士でも競いあっている商品買占め人が存在する。工場が直接購入することは、炒り用落花生の場合を除き、ひん繁にあることではない。

油工場は、穀物取引所で又は直接に、協同組合あるいは商品買占め人から購入を行なう。

流通形態は、油加工用落花生であるか又は直接消費用落花生であるかにより異なっている。

表 2.14-8 及び 2.14-9 に、最近の落花生油と落花生ペレットの価格を示す。表 2.14-10 には、加工用原料の使用量を示す。

表 2.1 4 - 8 生落花生油 - 当時の価格と特定の貨幣水準とで示した平均価格 100 Kg 当り

年	1971		1972		1973		1974		1975	
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-
1	130.40	19.66	200.70	20.57	117.70	19.60	375.20	25.94	776.00	24.6
2	132.10	19.67	184.70	16.70	120.30	19.66	データ無し	---	847.00	23.1
3	131.00	19.48	205.20	17.94	306.40	16.75	データ無し	---	857.00	21.9
4	122.00	17.50	236.60	19.73	329.70	16.90	データ無し	---	871.00	21.4
5	127.30	17.71	256.00	20.00	339.70	15.98	データ無し	---	907.00	21.3
6	130.90	17.57	262.90	19.52	330.90	15.98	データ無し	---	1,052.00	16.4
7	145.60	18.08	249.90	16.77	343.50	16.90	データ無し	---	1,051.00	21.4
8	143.80	17.78	255.10	19.43	364.10	17.31	677.90	24.57	1,290.00	18.1
9	137.70	16.60	277.70	19.78	445.00	16.61	669.50	24.86	1,448.00	15.1
10	140.40	17.70	280.00	19.37	348.90	16.59	687.60	24.75	1,338.00	16.7
11	149.50	17.32	308.00	20.48	397.00	18.89	689.00	21.54	2,250.00	17.6
12	178.30	19.60	337.10	21.65	496.10	23.18	3/c	---	2,710.00	19.1
平均	139.06	18.18	246.45	19.57	351.36	17.74	640.31	24.73	1,459.00	19.77

年	1976		1977		1978		1979		1980	
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-
1	データ無し	---	22,057.00	29.49	51,900.00	28.13	90,953.00	20.63	101,727.00	19.50
2	データ無し	---	23,405.00	29.10	53,200.00	27.15	90,900.00	18.98	119,905.00	11.71
3	データ無し	---	25,165.00	29.99	63,000.00	29.79	93,227.00	17.95	107,762.00	19.14
4	1,353.00	16.88	27,615.00	31.00	73,200.00	31.85	90,847.00	17.48	102,476.00	9.20
5	1,326.00	18.37	24,580.00	31.61	76,900.00	30.77	97,000.00	15.10	104,722.00	6.54
6	10,313.00	27.26	29,625.00	29.20	78,100.00	29.50	99,700.00	14.58	113,862.00	9.31
7	13,714.00	27.11	29,241.00	27.77	73,900.00	28.96	152,267.00	14.49	139,627.00	11.00
8	17,523.00	24.29	30,946.00	26.12	74,000.00	25.20	102,023.00	17.48	155,046.00	11.80
9	12,672.00	22.90	31,272.00	24.35	86,200.00	27.59	167,500.00	12.66	154,939.00	12.40
10	13,204.00	22.75	35,314.00	24.22	90,400.00	26.56	101,300.00	11.67	146,000.00	13.73
11	15,316.00	25.09	40,104.00	25.30	96,100.00	26.09	40,750.00	10.00	199,100.00	13.84
12	16,970.00	25.90	44,725.00	24.10	92,200.00	23.21	94,769.00	19.11	214,400.00	14.31
平均	17,165.78	22.61	30,877.00	24.02	75,400.00	27.70	97,430.00	14.80	140,946.00	11.37

註：-1- 当時の価格で表示した平均価格 物価指数基準 1960 = 100 による修正計算
 -2- 1960年のペソで表示した平均価格。農牧品以外の全卸売 出典：ブエノスアイレス穀物取引所

表 2.1 4 - 9 落花生ペレット (消費) - 当時の価格と特定の貨幣水準とで示した平均価格 1,000 Kg 当り

年	1971		1972		1973		1974		1975	
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-
1	329.34	49.61	441.75	43.49	1,411.00	87.44	1,300.00	67.91	1,300.00	41.13
2	334.72	49.33	451.31	43.05	1,530.00	90.23	1,300.00	67.50	1,170.00	35.74
3	319.00	47.32	509.78	57.43	1,175.00	74.67	1,300.00	60.21	1,300.00	23.13
4	320.00	45.91	695.00	58.00	1,321.00	47.02	1,342.00	51.18	1,300.00	31.99
5	310.00	43.12	635.71	51.34	1,603.00	77.09	1,344.00	44.42	1,157.00	27.41
6	312.02	42.00	620.75	47.92	1,733.00	82.14	1,183.00	49.10	1,262.00	20.01
7	315.59	40.05	716.90	53.88	1,764.00	84.22	1,063.00	47.64	1,959.00	22.95
8	301.92	37.34	750.00	54.96	1,300.00	61.00	1,200.00	47.05	2,577.00	25.91
9	294.22	35.17	780.00	56.04	1,300.00	61.03	1,180.00	44.08	1,146.00	26.91
10	334.22	37.75	789.24	54.61	1,300.00	61.00	1,270.00	45.14	4,400.00	19.67
11	382.75	41.74	822.63	62.34	1,300.00	61.70	1,061.00	34.35	5/c	---
12	465.75	45.06	1,291.38	84.15	1,300.00	61.27	1,300.00	47.92	5/c	---
平均	329.92	43.16	723.50	55.23	1,438.00	72.07	1,204.00	49.13	1,494.00	26.68

年	1976		1977		1978		1979		1980	
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-
1	データ無し	---	99,381.00	79.38	107,909.00	54.60	184,955.00	41.04	270,455.00	27.91
2	データ無し	---	80,000.00	75.14	106,200.00	54.20	188,000.00	34.42	320,000.00	11.53
3	データ無し	---	86,826.00	87.02	125,957.00	59.56	184,545.00	34.54	334,206.00	31.66
4	22,500.00	51.65	87,947.00	64.72	144,500.00	62.06	180,000.00	32.46	352,000.00	31.46
5	29,450.00	55.37	90,762.00	66.98	142,810.00	57.14	180,000.00	29.47	323,571.00	24.00
6	39,523.00	61.66	70,700.00	71.13	138,095.00	51.41	187,500.00	26.41	310,000.00	25.34
7	46,024.00	64.62	50,111.00	56.07	111,688.00	47.31	206,005.00	29.50	274,000.00	26.02
8	44,143.00	65.70	62,571.00	57.75	114,135.00	45.11	200,773.00	26.49	324,857.00	24.90
9	46,318.00	60.08	72,041.00	56.16	141,427.00	48.74	214,500.00	24.08	364,545.00	19.14
10	40,147.00	69.28	75,571.00	51.19	154,844.00	45.79	230,874.00	24.98	197,273.00	17.37
11	41,541.00	67.18	66,182.00	54.16	164,409.00	45.77	252,723.00	26.11	367,500.00	14.02
12	48,350.00	74.00	97,000.00	58.62	167,500.00	47.17	260,000.00	37.90	485,799.00	31.69
平均	44,136.00	73.46	74,467.00	69.57	139,233.00	51.53	207,001.00	31.04	367,281.00	24.36

註：-1-, -2- 表 2.1 4 - 8 に同じ 出典：ブエノスアイレス穀物取引所

表 2.1 4 - 10 落花生 - 加工使用量及び輸出货量とその金額

年	加工使用量 (1)	輸出货量 (2)	輸出货量 (3)	輸出货量 (4)	全世界 生産額 (5)
	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン
1971	229,091	2,697	1,731	273.00	14,490
1972	170,926	1,167	1,478	110.16	15,948
1973	232,482	1,875	1,400	74.15	17,085
1974	193,646	91	193	4.16	17,378
1975	149,676	3,464	29,578	360.15	19,428
1976	170,196	959	65,539	98.00	17,805
1977	340,889	25,653	367,299	3,216.11	17,880
1978	262,786	37,140	3,323,981	119.82	18,481
1979	239,522	43,122	16,456,887	6,993.00	18,352
1980	272,100	69,971	5/D	5/D	18,177

- (1) 出典：国家穀物委員会
- (2) 出典：国家統計局
- (3) 船積地での FOB 価格 出典：I N D E C
- (4) 農牧品以外全卸売物価指数基準 1960 = 100 (国産及び輸入品) による修正計算
- (5) 出典：FAO

2.14.4 外国貿易

表 2.14-1 に、最近の仕向先国別落花生輸出額を示す。一般的に言えば、生産量の大部分を占めるに至っていない（1980年度 19%）。主な輸出先は、オランダ、フランス、スペイン及びイタリアである。最近日本への輸出が増加している。

落花生油の輸出に関して言えば、その生産量の約 90% が輸出されている。表 2.14-12 に輸入国別の輸出量を、表 2.14-13 及び 2.14-14 に落花生くず、かす及びペレットの輸出量を示す。

1980年後半の各月及び1981年前半の各月の落花生及び落花生油の価格を表 2.14-5 及び 2.14-6 に示す。

表 2.14-11 仕向先別落花生輸出（トン）

年	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980*
西 独	--	20	--	812	1,076	2,643	2,352
アラブ首長国連邦	--	--	--	2,095	--	--	--
ベルギー	--	--	--	--	234	--	--
ブラジル	--	100	--	--	572	--	102
カナダ	--	25	--	--	--	--	1,419
コロンビア	--	--	--	15	50	--	--
チリ	--	--	--	190	149	235	67
スペイン	--	1,063	--	1,769	991	917	1,088
フランス	--	55	60	491	8,089	15,185	442
オランダ	--	3,509	775	16,783	17,670	34,680	39,538
イスラエル	--	--	--	--	269	50	--
イタリア	41	171	20	1,287	4,193	11,643	998
ジャマイカ	--	--	--	--	171	--	--
日本	--	--	--	--	837	3,001	4,679
ポルトガル	--	--	--	50	111	111	--
ブルエルトリコ	--	--	--	13	--	--	--
英国	--	201	--	525	2,677	7,613	3,170
トリニダードトバゴ	--	--	--	25	31	--	--
ウルグアイ	--	--	--	1,566	--	--	--
その他	--	--	--	32	--	--	80
その 他 の 国	--	--	--	--	--	7,044	15,836
TOTALES	41	5,144	855	25,653	37,140	83,122	69,971

出典：JNG

表 2.14-12 仕向先国別落花生油輸出量（トン）

年	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980*
西 独	2,000	--	2,129	14,458	11,249	14,373	3,462
日 S A	194	--	--	--	--	--	--
フランス	8,240	--	--	2,949	10,440	11,871	11,743
オランダ	36,154	--	19,409	34,058	38,024	79,083	56,842
イタリア	17,367	--	--	2,550	1,685	7,605	5,420
ブルエルトリコ	985	--	--	--	--	--	--
スペイン	3,042	--	--	--	1,022	1,000	--
エズエラ	--	--	20,712	50,863	26,188	6,000	--
ユーゴスラビア	850	--	--	--	--	--	--
その他	--	--	2,521	26,618	6,249	6,580	1,166
TOTALES	68,852	--	44,771	131,496	94,857	126,512	78,633

出典：HNDEC *最初の11か月に相当する数字

表 2.14-13 仕向先国別落花生かす及びくず輸出量

年	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980*
西 独	--	900	--	--	--	--	--
オランダ	2,209	2,092	497	1,509	--	8,977	7,750
フランス	--	--	--	1,558	--	4,006	--
その他	--	--	--	--	--	--	--
TOTALES	2,209	2,092	497	3,067	--	12,983	7,750

出典：INDEC *最初の11か月に相当する数字

表 2.1 4 - 1 4 仕向先別落花生ペレット輸出量 (トン)

年	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980*
西バ	742	1,798	250	1,792	--	10,817	--
ルギ	--	--	640	3,345	--	--	--
スベ	2,044	--	--	--	--	--	--
フラン	--	6,608	6,562	40,303	6,029	34,194	7,717
オラ	19,893	20,153	42,302	109,703	57,874	117,360	54,579
イタ	--	--	--	--	--	2,755	3,355
ポー	13,736	--	--	--	--	--	--
ランド	--	--	--	7,196	--	--	--
ポルト	--	1,536	--	695	--	--	--
ガル	--	--	--	--	--	--	--
コ	--	--	--	--	54,030	10,675	14,978
その他の	--	--	--	--	117,933	175,621	75,729
国							
TOTALES	36,417	30,095	49,754	163,234	117,933	175,621	75,729

出典：INDEC
*最初の11か月に相当する数字

表 2.1 4 - 1 5 落花生油：ロッテルダム市場での価格の推移 - 1980.8 - 1981.7 平均

	1980					1981						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
公称価格 US\$/トン	90	97.71	93.55	100	112.50	114.20	107.70	115.31	104.66	113.07	112.21	118.87
(1)												
パーセント 表示変動	+8	+8	+6	+10	+11	-7	+6	-11	+9	+3	-2	
(2)												

註：(1) 最も近い数字
(2) 前月度比

出典：ブエノス・アイレス穀物取引所年報 1981

表 2.1 4 - 1 6 落花生：ヨーロッパ市場での価格の推移 (US\$/トン)

1980.8 - 1981.7 平均

	1980					1981						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
公称価格 US\$/トン	501	527	540	540	620	627	650	540	750	750	715	700
(1)												
パーセント 表示変動	--	33	--	--	--	11	37	--	--	--	-47	-21
(2)												

註：(1) 直接船積用乾燥落花生の価格、西アフリカ
原産品、小売商価格、CIFヨーロッパ
(2) 前月度比

出典：ブエノスアイレス穀物取引所

2.15 蜂 蜜

農牧省は、蜂蜜の生産に関するデータを持っていない。このため、蜂蜜の信頼すべきデータが乏しい。これの加工に関しても同様に、データを欠いている。

一方、輸出については数量及び仕向先国 (表 2.1 5 - 1) と価格 (表 2.1 5 - 2 については、データが得られる。

同様に、蜜ろうの市場価格についてもデータがある (表 2.1 5 - 3)。

表 2.15-1 仕向先国別蜂蜜の輸出量(トン)

国	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980
ア	--	--	--	--	--	--	--
西	5,170	6,628	7,063	6,065	291	6,971	7,093
ル	30	175	296	255	--	--	353
バ	--	--	8	2	--	--	--
ギ	63	31	5	110	15	25	--
ニ	63	665	667	4	--	--	--
独	--	15	30	--	--	119	422
一	--	41	--	--	--	1,281	2,205
ア	2,865	6,082	6,370	3,185	13	331	614
独	--	--	--	--	--	--	--
一	31	6	57	25	2	24	6
ア	140	234	40	--	--	106	60
独	94	377	305	169	--	290	236
一	--	45	20	--	--	97	20
ア	844	107	1,013	1,037	12	6,510	4,669
独	1,214	7,025	12,062	10,300	--	5,832	2,019
一	--	3	--	75	96	7	6
ア	70	154	352	159	--	180	50
独	439	957	1,588	1,687	--	1,701	1,057
一	--	--	--	--	--	47	95
ア	--	50	--	--	--	--	--
独	--	--	--	87	14	--	20
一	--	--	--	--	--	--	--
ア	11,023	22,635	29,876	23,160	443	23,511	18,929

出典：INDEC

*最初の11か月に相当する数字

表 2.15-2 蜂蜜の輸出(ドラム缶入り)-当時の価格と
特定の貨幣水準とで示した平均価格
100kg当り(1980年度kg当り)

年	1971		1972		1973		1974		1975
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-
1月	117.10	17.68	209.10	26.92	564.00	34.95	520.00	24.31	424.00
2月	124.94	18.41	322.00	29.20	657.50	38.27	596.00	23.11	531.00
3月	141.00	20.87	344.04	30.07	642.25	34.08	440.00	21.36	527.00
4月	145.08	20.72	343.25	28.65	668.84	34.34	460.00	29.61	531.00
5月	158.23	22.01	347.85	28.09	704.76	33.84	456.00	19.63	515.00
6月	163.00	21.94	265.30	28.20	642.00	32.66	445.00	18.41	722.00
7月	180.00	23.30	308.57	29.95	612.00	29.22	405.00	16.25	1,101.00
8月	190.36	23.53	481.50	31.62	643.00	32.87	417.00	16.35	1,584.00
9月	190.31	22.75	447.20	31.86	727.00	34.58	458.00	16.35	1,738.00
10月	203.95	20.25	402.85	27.87	717.00	34.09	444.00	15.78	2,182.00
11月	212.25	24.57	504.00	34.85	676.00	32.08	447.00	15.28	2,742.00
12月	236.20	20.23	566.00	36.88	350.00	27.34	457.00	15.09	2,285.00
平均	171.91	22.20	395.18	30.24	660.12	31.23	454.42	16.34	1,347.00

年	1976		1977		1978		1979		1980
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-
1月	3,435.00	20.56	12,730.00	18.38	30,795.00	19.93	98,500.00	20.69	1,329.03
2月	4,553.00	21.51	16,175.00	20.11	37,735.00	20.28	121,305.00	21.24	1,293.00
3月	5,507.00	16.07	17,778.00	28.57	44,200.00	20.60	115,780.00	22.20	1,273.00
4月	7,656.00	17.58	22,680.00	25.25	49,115.00	21.37	112,800.00	20.32	1,325.00
5月	8,583.00	16.68	26,381.00	28.19	53,571.00	21.44	107,400.00	17.63	1,418.00
6月	9,714.00	20.57	28,009.00	26.98	55,337.00	20.91	118,000.00	18.03	1,441.00
7月	11,086.00	22.77	28,229.00	26.67	57,976.00	21.55	128,000.00	18.14	1,651.00
8月	13,606.00	26.75	30,200.00	25.46	62,685.00	21.17	135,000.00	17.05	1,778.00
9月	14,541.00	26.27	30,001.00	23.43	67,190.00	21.47	131,500.00	15.73	1,888.00
10月	14,943.00	24.07	27,705.00	20.37	73,024.00	21.46	131,900.00	15.19	1,820.00
11月	13,073.00	21.14	31,345.00	19.90	77,500.00	21.56	134,100.00	14.94	1,793.00
12月	13,130.00	20.03	34,058.00	20.48	83,500.00	21.82	135,000.00	14.32	1,817.00
平均	9,460.00	21.38	25,957.00	21.49	58,721.00	21.09	120,025.00	17.95	1,561.00

註-1-当時の価格で示した平均価格

-2-1960年のペソで表示した平均価格。農牧品以外の全卸売物価指数。

基準1960=100による修正計算

出典：ペノスアイレス穀物取引所

表 2.15-3 蜜ろう - 当時の価格と特定の貨幣水準とで
示した平均価格 100 kg 当り

年	1976		1977		1978		1979		1980
月	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-	-2-	-1-
1	101.00	0.50	540.00	0.72	1,400.00	0.57	3,814.00	0.86	6,560.00
2	131.00	0.57	450.00	0.75	1,662.00	0.85	4,140.00	0.87	6,500.00
3	157.00	0.57	546.00	0.77	1,774.00	0.85	4,277.00	0.81	6,527.00
4	225.00	0.52	682.00	0.77	1,895.00	0.82	4,347.00	0.78	6,775.00
5	282.00	0.61	735.00	0.79	2,105.00	0.84	4,500.00	0.75	6,987.00
6	465.00	0.96	971.00	0.88	2,324.00	0.98	4,950.00	0.69	7,000.00
7	460.00	0.91	1,257.00	1.14	2,741.00	1.00	4,709.00	0.67	7,042.00
8	470.00	0.91	1,767.00	1.15	2,986.00	1.01	4,664.00	0.61	7,377.00
9	477.00	0.85	1,344.00	1.08	3,224.00	1.03	4,270.00	0.62	7,500.00
10	437.00	0.84	1,419.00	0.97	3,320.00	0.98	4,432.00	0.63	7,500.00
11	460.00	0.80	1,560.00	0.99	3,568.00	0.97	4,423.00	0.66	7,910.00
12	502.00	0.78	1,660.00	0.96	3,678.00	0.93	4,347.00	0.69	8,000.00
平均	310.00	0.73	1,155.00	0.92	2,577.00	0.92	4,844.00	0.72	7,137.00

註 -1-, -2- 表 2.15-2 に同じ
参考: 序文の項の説明を参照。
出典: プエノスアイレス穀物取引所

4. 結 論

これ迄に、本書の目的として、基礎データを提示、整理及び解析を行なってきた。

実施した解析は、基礎データが意味する現実の姿を、平均値及び推移を示すグラフにより表示しようとするものであった。整理そして解析されたデータは、経済的に見て興味深い問題をさらに研究、計画化するための基礎資料として活用が可能である。

本書で取扱っている農産物の栽培及び生産状況を見れば、これらの大部分が、最初の3ないし4農年、栽培面積及び生産量は、明らかに下降傾向を示していることが解る。この理由は、疑いなく、経済的誘因が無いことと、果物・野菜一般生産活動の収益性が低くなっていることにある。解析を行なった農産物の多くは、国内各州の地域経済の基盤となるものであるが、最近充分な管理ができないため非常に多難な時期に直面しており、一層、収量の低下を招いている。

この状態は、さらに高金利のため、各地区が負債を負う程に迄、悪化している。

原料の加工業者も又、高金利のため、打撃を受けた。国内通貨を過大評価し、輸出商品の価格を下げ、そして、輸入商品の競争を激しいものとした為替市場の悪影響を受けているのである。

商品の流通量についても同様に、最近は最高調の時期とは言えない。

流通される商品についての弊害に関しては、前項でも述べてきたが、商品の取扱い量が非常に多いこと、市場が老朽化していること、商品の種別化が十分にされていないこと及び中間業者が多すぎる事等である。

これらの要因が商品価格を高くし、その品質を悪化させ、そして、取引の透明度を損なわせているのである。

計画的な生産を難しくし、農業経営を危うくする他のマイナス要因は、価格水準が大きく変動することである。農産物価格に季節により変動するのは当然のことであるが、各年によって大きく

変動するのには問題がある。

しかし、この変動は全く予測不可能なものではない。何故なら、多くの農産物はその価格推移に明らかな周期的傾向があるからである。この推移を知ることにより、現在の農産物価格がこの周期のどこにあるかを把握し、価格を推測することが出来る。

一般的に言って、価格は最近かなり低水準にある。

最後に、輸出に関し言及すれば、現行の為替レートに問題がある。これは輸出額の減少に決定的な影響を与えたが、さらに、この問題について最近の国の政策に一貫性が欠けていることと各仕入れ市場間に適切な関連性がないこと——このため、各市場の取引が著しく散発的かつ偶発的となっている——が現況を悪化させている。主要輸出国は、第一にEC、それとUSAである。ブラジルも常に重要な輸出先であり、近隣諸国の中では第一位を占めている。

5. 今後の見通し

現時点で見通しを語ることは、南大西洋での英国との紛争の発展による政治経済面の今後に不確実性があるため、非常に困難である。

従って、読者は、各農産物毎に示されている国内及び国際価格の推移を参考とし、これにより各農産物の今後の可能性を推論することが必要である。

一般的に言えば、利率の引下げとペソの切下げは、生産部門と輸出部門に対しては好結果をもたらすものであろう。しかし、農産物の価格形成及び特に、消費量に関しては、国民の購売能力が大きな影響力を持っていて、現在の下降傾向をさらに強めることになりそうである。

一方、EC市場は、アルゼンティン商品の輸入を停止した。この事態は、最初から全輸出額の約50%を予定していた梨及び、りんごにとって重大事態である。ヨーロッパに送られる品種は緑色で酸味の強いものであるから（主にGranny Smith りんご）、他の国又は国内市場では受け入れられない。

柑橘類は、その大部分が5月から10月に輸出されるので、その品質がかなり損なわれていた。この意味でU.S.A産冷凍柑橘類の旧大陸諸国への供給料が減少したことは好材料である。

国内価格に関して述べれば、高価格とは言えないものの、最近の生産低下による供給量の減少のためであろうか、一般的には高値回復傾向を示しているかのように思われる。この状況は、商品の輸出を引き続き困難なものとする可能性がある。

6. 参考書目

1. INDEC (国家統計国勢調査局)。卸売物価 統計月報
2. 農牧省 - IICA (全米農業科学協会)。「ブエノスアイレスに於る卸売段階での果物及び野菜の市場化」 シリーズ：雑出版物 No 173, ブエノスアイレス 1977

3. UBA (ブエノスアイレス大学) 農学部 野菜栽培: 技術図解ガイドブック 1978
4. 経済省。アルゼンチン農牧部門現状と展望 1978 - 79
5. フランシスコ・ヒオピオ。主要生鮮果物のアルゼンチン国内の推定年間消費量。アルゼンチン果物生産者協会。回報 № 1/81 - ブエノスアイレス 1981
6. リカルド・ルチニ。加工果物・野菜及び乾燥・脱水製品。種々のワイン及びサイダー。オリブ及び油。容器及び混入物。アルゼンチンの装置及び施設。ブエノスアイレス 1976
7. アルゼンチン加工野菜連合。月報 № 3 7 - ブエノスアイレス 1980. 9
8. アルゼンチン加工野菜連合。1979 年度の輸出 - ブエノスアイレス 1981
9. メンドサ加工果物会議所。メンドサでの果物加工 統計集

付 属 書

国益のための市場法 19227

以下に、本法律の諸条項を、その原文に基づき（形式的事項を除く）転記する。

この法律の目的は、地方自治体又は国が管理する卸売市場網を全国的規模で促進、完成させ、これにより、国民への商品供給状況を改善（数量、品種及び価格の各面に於て）すると共に、生産側が絶えず要求する生産に対し支援と奨励とを確立しようとするものである。

この法律が想定する集荷市場は、特に生鮮食料品のためのものであり、公共事業の性格を持つものである。公共事業的であると言う訳は、これらの商品が著しく傷み易いという条件を持っていることと、これらを国民へ供給する重要性が一段と高くなって来ているということのためである。このため、これら商品の集結、貯蔵及び分配のために十分な最新式の、そして適切な場所に位置する施設と、生産者及び買い手のためのアクセス設備が要求されると共に、取引（数量及び価格）の保護とこれを公表することが必要となる。このことにより、国内全域の取引及び生産に、指針が与えられることになるのである。

連邦首都へのジャガイモ、にんにく及び玉ねぎの集結のために政府が採用した最新の解決策、国内の様々な生産センター内の生産者グループが実施したプロジェクト、それに、最近20年間にスペイン、フランス及びイタリアで設定された市場制度、これらのものが、この法律が想定する市場構造の計画化、実施化及び遂行のため、価値ある参考例を提供している。

法令 46/70 で承認された国家政策には次の様に述べられている。「104。地域市場を基礎とする構造の生鮮食品集結国営システムの創設を促進すること。」この国家政策の実施に当たっては、商品分配上のコストの削減と歪みの是正、様々な流通段階での商品受渡しのスピード化及び生鮮食品の種別化に関する法律が必要である。同様に、全国各地の国民が消費用生鮮食品を入手出来るように、そして、生産者が自分の商品を適切に市場化出来るようにする効果的な配分システムを全国各地に創設するため、各州に司法及び経済組織を設けると共に、地域発展を強化する必要がある。

一方、法律 19039 で承認された国家発展計画 1971 - 1975 は、国内商業部門の目標として下記の通り定めている。「全国各地に国益のための市場網を創設し、生産者及び消費者の現在の市場への介入条件を改善することにより、全国レベルでの商品流通を容易なものとし、中間過程を合理化する。」その具体的な方策としては、「国益のための市場で行なわれる取引に関する情報ネットワーク及びデータ処理センターを創設し、そこで分析を行なって必要な結論が得られるようにする。」

商工鉱業省は、この国家政策に定められている事項を実行するため、一つのプログラムを作成中であるが、これによれば、各州に少なくとも一つの集荷市場を設置するが、人口が集中している地域にはこれを一つ以上とすることを前提としている。従って、市場網は、原則的には、30以上の市

場によって構成されることとなる。

本法律の目標は、これが定める以下の必要事項を実施し得る市場に於て需要と供給との集結を達成することである。その必要事項には、取引が公開されていること、位置する場所が適切であること、周辺地区へ順応出来ること、需要と供給との結び付きが自由に行なわれること、商品の衛生状態が確保されていること、出来る限り少ないコストで国民への商品供給を可能とする集結方法及び市場網内取引が実施されること、及び、生産者への適切な報酬とその生産活動の助成とが確約されていることである。

さて、種々の調査によれば、市場の数量は不足しており、しかも、存在する大部分の市場は上記の機能を果たしていないか又は、果たす能力を持っていない。従って、必要なことは新しく市場を設置し、現存の不適切な市場をこの設備の整った新市場に代えることであり、これにより、現在の市場化構造の真の改革が可能となる。

このような現状が政府を動かして、生産及び消費の要求を満足させ得る国益のための市場による公共サービスの創設を促がすと共に、価格形成の公正さと商品の必要性に応じた配分とが確保されるように、市場での取引に於て順守されるべき最低限の法規の設定を促がすこととなった。これと同時に、現存する市場の中で、必要条件の全てを満たしてはいないが新市場に代わる迄の期間は存続させることが可能な市場について、これを新しい公共サービス制度に編入することが可能かどうかを、その効果が保証されている限りにおいて検討が行なわれている。

市場の建設又は再編成に関しては、その能力及び最新の取引条件との対応を定める規程が課せられている。

まず第一に、新市場が需要との対応が出来ることを確かなものとするため——この需要を満足させることが市場の目的である——、一連の必要条件が定められている。

第二に、計画、建設される市場はそれ自身でこれらの必要条件を満足させ得ること、及び、行政当局は、不必要な投資が行なわれること（これは投資家のみならず地域社会にも損害を与える）又は、需要と供給との正しい結び付きを確保しようとする目的が軽視されることがあれば、これを中止させる手段を取り得る権限を持つことが定められている。

この法律が規定する食用生鮮商品の市場化は、特別な性格を持っている。

小売業者は仕入れを行なう回数が非常に多く、そして、卸売業者はその商品の販売に掛ける時間が少ないので、もしこの結び付きが特定の時間及び場所で行なわれないものとする、売り手側と買い手側との全ての供給と需要の関係を完全に知った上での真の競争が存在し得ないことになる。

従って、単一の結び付きの構造が無いと、正しい価格形成が不可能となり、実際の需要と供給のバランスが表面に現われないため、投機操作を可能とする。位置する場所が適切で、その大きさも適当、そして設備も良い市場（すなわち、全ての需要と供給を結び付けることが可能な市場）が建設された時には、この単一の結び付きが、地域の全部門の利益のために自発的に達成される筈であ

ると考えて当然である。

しかしながら、特に新市場の開設初期に於ては、構造的歪み——修正に努められている——によってゆがめられた習慣を継続させないための法的メカニズムが必要である。このため、市場の正しい機能を妨げる障害を除くため、公共管理局に対し、各場合の条件及び危険度に応じて必要な措置を取る権限が与えられている。実際には、我が国の習慣とフランスの法制及び経験を基礎とした国益のための市場の保護範囲制度が法体系に加えられている。

この制度によって、国の管理（例えば、経営及び会計監査、条令の事前認可、監督機関による内部規則の承認）と市場の開設（例えば、無料駐車場、競売場と競売時間の裁定）とに関する一連の措置が取り得る。

市場審議制度の目的は、市場の機能を正しいものとするに関心のある地域部門の意見を経営幹部レベルに迄引上げることにより、上記の二つの目的を同時に達成することである。監督機関顧問審議会の制度化に当たっても、地域部門の参加が考慮されている。生産者、協同組合及び法的に奨励されている商業組織を明らかに保護する法規が他にもあって、市場構造の変革を加速化している（同時に、小数地域の利益をも考慮している）。これらの顧問委員会又は審議会に、活動が有効と認められる地域部門の代表を送ることにより、不必要な仲介を除外することが出来る。

本法律が、その有効性を確かなものとするために定める制裁システムは、二つの異なる性質面を持っている。

その一つは、市場訓練を受ける人々——市場の規律下に入った時——にだけ課することが出来る訓練制裁である。

他の一つは、禁止事項に違犯した人々（市場訓練を受けているか又は受けていないかを問わない）に対する刑罰制裁である。

当然のことながら、これらの人々が、競争保護、商品表示、衛生対策等の条令に違犯する場合は、それに相当する制裁から免れることは出来ない。

同様に定められていることは、行政没収罪が課せられると直ちに、商品の売却の処置が取られ、そして、（裁判でこれが無効とされた場合）相当する補償を定める処置が取られる。

この方式によって、商品を失なうことなく、供給に関しての法律への違犯を無くするための最も効果的な没収罪の使い方が出来る。

取扱う商品は必ず生鮮商品である訳なので、他の方式では、地域にとっても又裁判で無罪となった人にとっても、迷惑がかかる。控訴の審理中に商品が傷んでしまうからである。

さらに、市場活動の補足的役割を果たす行為の実施のため、公共管理局に対し権限を与える規定が定められている。

その規定の中で特に言及せねばならないのが市場情報国営システムであるが、この制度は、商品種別化と容器及び通信・計算の新技术の規格化とを実施する適切な方式の導入を目標とする。この

制度は、市場内取引又は市場間の取引にだけ直接利益をもたらすものでなく、全国の消費需要に関する情報が得られることにより生産調整が可能となるという間接的な利益も得られる。

最後に言うべきこととして、この法律が、現行の市場化システムの構造的改革——生産活動を優遇し、不必要な仲介を排除し、国民の購売力に適した最終価格を定める——のための一つの手段となるように、これを解釈し適用するための判断規準が定められている。

ブエノスアイレス中央市場株式会社を創設することによって首都圏への供給問題を解決しようとする政策——法律 17422 にて既に承認されている——が追認された。この政策は、この中央市場が大ききからして新システムの最重要の構成要素になる筈であると解釈している。

I - 生鮮食品集結市場の創設の奨励

第1条—行政当局は、生鮮食品集荷市場が法の支配する商業活動に於て重要な役割を演じ、下記の目的、または機能を持つ時、これが国益にかなっていると判断出来るものとする。

- a) 全国の需要及び供給の情報の提供、生産及び消費のための適正かつ指導的な価格の形成、食品の保健衛生検査、品質・数量管理。
- b) 市場の位置する場所が、都市計画上の必要条件に影響することなく商品輸送を容易にするような、そして、市場化コストを下げるために不要な作業を行わずに済むような場所であること。
- c) 市場の設備能力と機構水準が、その地域住民または商品生産地帯の要求に対応する数量及び様々な商品を市場化するのに適当であること。
- d) 生産者、協同組合あるいは他の関連業者に対し、スペース、設備及び売り場を提供出来ること。
- e) 買い手が、取引促進制度内の各組織に対し、消費者迄の商品の運送手段——出来るだけ少ない仲介と正当な範囲内で——を求めることが出来ること。
- f) 取引上の善意及び忠義に反する行動と買い占め傾向のあるグループの形成とを排除すること。

第2条—行政当局は、管理機構が決定するプログラムに従って国益のための市場網の創設を促進するが、新市場の建設と現存の市場の再編成及び市場網への編入に関しては、第3条にて述べるいずれかの者が第1条の事項と下記に挙げている事項とに準じて適切な計画書を提出した時、これを承認することが出来るものとする。

- a) 市場の位置。
- b) 技術、経済及び財政上のフィージビリティ調査。機構及び機能計画。新市場プロジェクトのための各規定条件に合わせた内部規則。第1条に定められている目的及び機能が現存の市場に当てはまるかどうかについての調査。

第3条—国益のための市場は公共奉仕の性格を持つものであり、その管理は下記に委ねることが出

来るものとする。

- a) 法律 17318 に準じて構成されている団体。
- b) 公共団体。
- c) 特別な勧告があった場合、協同組合、民間団体又は商事会社。その条件として、生産者又は生産者の協同組合もしくは団体が、取扱い商品の市場化及び地域——商品の市場への集結を行なうことは地域利益のためである——の必要性に準じて、新市場の資本金及び資産の形成とその管理とに参加することが必要である。商事会社が株式会社又は合資会社である時は、株式は記名式とされる。

第4条—行政当局は、国益のための市場を設立する区域を決定するが、この区域内に於ては、この国益のための市場法の定め準じない生鮮食品卸売市場の建設、再編成又は移転を4年間禁止することが出来るものとする。もしこれらのことを実施する場合は、その旨の申し出を必要とする。

第5条—第2条に準拠して承認された国益のための市場の利権譲り受け人は、下記の利権を要求出来るものとする。

- a) 建設が認められた公共又は民間の土地買取り——資産評価裁判所が決定する価格と新市場助成条件に基づく融資による——。
- b) 国立銀行の助成貸付金。
- c) 国際信用機関に対する市場建設のための信用貸与申し入れの承認。
- d) 国家管理局の承認機関による技術援助。
- e) この法律の定め準拠した保護範囲。

第6条—利権譲り受け人は、第2条の適用はより行政当局が承認したプロジェクトに含まれる不動産に対して、公益事業のために収用を言い渡すことが出来る。

第7条—行政当局は、第2条に準じて承認された市場のための保護範囲を、これに続く二つの条項の定め通りに各市場の地理的境界と保護の期間及び規模とを定めることにより、決定又は修正出来るものとする。この目的のため、商品の効果的な配分を行なうのに最も適した技術規準を作成して、需要と供給の結び付きを自由なものとすると共に、市場化手順を簡単なものとする。保護期間は、市場の認可日から数えて最長20年間とし、10年間以内の延長が出来るものとする。

第8条—行政当局は、前条で述べられている範囲内で、下記を行なうことが出来るものとする。

- a) 国益のための市場で取引されるものと同一の商品を一つ以上扱う他の卸売市場の建設、再編成又は移転の禁止。
- b) 国益のための市場で取引されるものと同一の商品を一つ以上扱う他の卸売市場の活動の禁止。
- c) 国益のための市場で取引される商品に関して、市場の境界外での全ての小売り売買とその補助活動の禁止。
- d) 小売業者を市場に常駐させることを義務づけること、保護範囲以内で生産される商品の生産

者から行なう買付けを除く。

第9条-前条の a) 項に述べられている禁止は、第2条の利権譲り渡しの認可後に有効となり得る。

b) 項及び c) 項の禁止は、保護される市場の機能開始の時点から有効となるが、利権譲り受け人は、この時必ずマスコミを使ってその日付を公表すると共に禁止を行なう趣旨の説明をし、さらに、このことを、市場を管轄する行政当局、州及び地域自治体に報告しておかねばならない。

第10条-第2条 b) 項が定める措置が有効となった時、保護範囲に管轄権を持つ地域自治体は、機能を停止した民間所有の卸売市場の不動産とその付属建物を、都市再編成計画で認められる程度に収用することが出来るものとする。

II - 経営及び管理制度

第11条-国益のための市場の利権譲り受け人はいかなる場合に於ても、本法律及びその付則に準じて、市場の内部規則をその承認のため管理当局の判断に委ねる必要がある。第3条 c) 項の場合、利権譲り受けを願う者は、その法規又は法案を管理当局の判断に委ねる必要がある。

第12条-下記事項は利権譲り受け人の義務である。

a) 管理当局の原簿に登録を行なうこと、及び、本法律の目的から必要とされる情報を管理当局に提供すること。

b) 法規が定める管理会計監査の統制に従うこと。

c) 特定の時間及び競売の毎に市場の場を定めること。これを行なうに当たっては、前例、商品品種及び売り手が先を見越して市場化する商品の数量に留意する。

d) 生産者及び生産者協同組合又は団体が自由に使用出来る売り場を、法則が定める最低数量と機能規則に準じて準備すること。

e) 市場で取引を行なう者の登録簿を作ること。

f) 売り手が提供する情報を受理する、編集する、保管する、公表する、そして管理当局に報告すること。

g) 市場で取引を行なう者の活動と本法律の管理当局の管理とに便宜を与えること。

h) 本法律とその付則の運用に際し、行政当局の代理人を務めること。

第13条-各利権譲り受け人は、下記により構成される市場審議会を作らねばならない。

a) 市場取引の管轄権を持つ自治体の代表を必ず含む、定められた法規に準ずる公式代表者。

b) 生産者代表、及び、最も代表的な協同組合又は団体により任命されたその他の市場取引業者（売り手及び買い手）の代表。

第14条-売り手又は買い手の資格で市場に於て取引を行なう者は、利権譲り受け人の登録簿に登録を行なって、その取引の種別を表わさねばならない。

第15条-下記の者は、本法律に準じて、売り手の資格を持つ市場取引人として認めるものとする。

- a) 生産者，生産者協同組合及び団体，それ自体で，又はしかるべく承認された代理人を通じて。
- b) 農民開拓地団体又は市場で取引される商品を販売する法的資格を持つその他の公共団体あるいは組織。
- c) 輸入業者，輸入商品を取引する限りに於て。

第16条—下記の者は，本法律に準じて，買い手の資格を持つ市場取引人として認めるものとする。

- a) 小売業者及びその組織又は団体。
- b) 消費協同組合。
- c) 病院，ホテル，レストラン，軍隊，協同組合連合及び消費のための卸売り購入が認められているその他の団体。
- (d) 原文に無し)
- e) 市場化される商品を法規準範囲内で加工又は容器詰めを行なう加工業者。
- f) 委託運送業者。
- g) 輸出業者。
- h) 法規準範囲内の卸売業者。

第17条—売り手の資格で取引を行なうように登録されている者は，下記規定に従わねばならない。

- a) 実施する取引を文書化すること。
- b) 商品出入記録，実施取引，価格，商品増減を市場利権譲り受け人，または管轄当局へ提供すること。
- c) いかなる場合に於ても，管理当局が行なう管理に便宜を与え，管理当局又は市場管理部が定める規則を順守すること。

第18条—行政当局は，全ての市場又は特定の市場が最低限取扱う商品について決定を行なうものとする。行政当局は，利権譲り受け人の申し出により，あらかじめ市場審議会からの報告を受けて，市場が取引を行なう品種——定められた商品の範囲内——のリストを作成することが出来ると共に，第1条に含まれていない他の商品の市場化を承認することが出来るものとする。

第19条—行政当局は，あらかじめ市場利権譲り受け人及び市場審議会の報告を受けて，市場で実施される又は実施されることが出来る販売システムを，各市場の特性と特に市場が対象としている地域の特性とを考慮し，決定することが出来るものとする。

第20条—行政当局は，国益のための市場が，認可された際順守せねばならない内部規則を定めるものとする。この内部規則は，下記を定めていなければならない。

- a) 市場内の各作業の時間表。
- b) 各商品毎の最低取扱い数量。
- c) 承認を受けた又は義務づけられた販売システム適用方法。
- d) 取引場及びその他の施設の決定のために取引業者，売り手及び競売手順が備えるべき条件。

- e) 取引業者の市場構内への入場条件。
- f) 取引業者の種別毎の義務。
- g) 取引業者の種別毎の規律及び各業務の価格又は料金の決定。
- h) 保証又は抵当の方法。
- i) 市場補助業務。
- j) 設備の管理。
- k) 市場内通行規則。
- l) 顧問審議会の制度及び権限。
- m) 第1条に定める規範内のその他の市場に関する全事項。

第21条—行政当局は、市場内取引資金・清算システムを創設し、そこで得られたデータを情報システムに提供するものとする。特別な場合には、法律18061が定める銀行及びその他の金融機関が介入出来るものとする。

第22条—行政当局は、法規の定めに従って、下記の目的を達成するため、適当と考えられる情報システムを創設するものとする。

- a) 入荷商品、前日の取引、価格及びその他の市場公開性に役立つ全てのデータに関する公の情報が各市場に存在すること。
- b) 各市場の情報が、管理機構内で機能するセンターに送付されること。このセンターは、生産活動と価格形成に指針を与えるため、及び、国内の商品分配の効果的实施と市場に実際に商品を持ち込まずに市場の間で取引を行なうことを可能にするため、統計を作成して十分なデータの提供を行なうものとする。

第23条—行政当局は、情報システムが正しく機能するように、商品別及び容器規格化制度を創設するものとする。同様に、生産者指導制度を創設し、市場及び取引業者に必要情報の提供を義務づけ、これを省略又は偽造した場合、本法律が定める罰則を課すものとする。

ここに、本法律の最も興味深い条項について転記を行なった。この外の条項として、その他の市場の公共サービスへの編入（第24条～第26条）、訓練制裁（第27条～第29条）、罰則（第30条～第31条）、一般規定及び補則（第32条～第35条）がある。第36条は形式的なものである。

本法律は1971年9月9日に承認され、Lanusse, Rey, Gnani, Di Rocco及びChescottaが署名を行なっている。

最近、ブエノスアイレス州行政当局は州条令第9785を承認したが、これによって、ブエノスアイレス中央市場の範囲外の州内26地区に於る野菜及び果物の卸売販売が禁止された。

その26地区とは、アルミランテ・ブラウン、アベリャネダ、ベラサテギ、カニユエラス、エスコバル、エステバン、エチェベリア、フロレンシオ・バレラ、ヘネラル・ラス・エラス、ヘネラル・ロドソゲス、ヘネラル・サン・マルティン、ヘネラル・サルミエント、ラ・マタンサ、ラヌス、ロマス・デ・サモラ、マルコス・パス、メルロ、モロン、モレノ、ピラル、キルメス、サン・フェルナンド、サン・イシドウロ、サン・ピセンテ、ティグレ、トレス・デ・フェブレロ及びピセンテ・ロペスである。

野菜及び果物の流通に現在使用されている最も一般的な容器及びその概算重量

にんにく：100個の組み房

えんどう豆：13～18Kg入り袋

玉ねぎ：25Kg入り袋

緑色玉ねぎ：15Kg入りかご

ピーマン：13Kg入りトリト、10Kg入りペルディド、10Kg入り袋

桃：5～12Kg入り盆、6～12Kg入り箱、12～15Kg入りトリト

いちご：0.5、1、1.5、1.8、2.5、3.5又は5Kg入り箱

レモン：10Kg入り袋、18～20Kg入り小おけ、18～20Kg入りサンマルティン

りんご：20Kg入りトレイパック、20～22Kg入りコセチェロ、20Kg入り入れ子式箱、18Kg入りトリト、20～22Kg入りトロ、20～24Kg入り小かご、10Kg入り中箱

みかん：20Kg入りペルディド

オレンジ：20～24Kg入りトロ、20Kg入りサンマルティン、18～20Kg入り小おけ、10～20Kg入り袋、20Kg入りペルディド、18～20Kg入り箱

梨：20Kg入りスタンダート、18～24Kg入りコセチェロ

グレープフルーツ：16～18Kg入り小おけ、16～18Kg入り箱、18～20Kg入りサンマルティン

出典：ブエノスアイレス中央市場協会

JICA

9
8
E
LIE